京城日報

(年中無休刊)

發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川元之介
電話番號長六千九百番

獨逸要請關稅討議

媾和會議は獨逸の國境に於ける同族陸上境界に於ても金指定に依り關稅を徴收するの許可を求めたる獨逸の要請に對し大きものなるや否やを討議し同問題は賠償委員會に於て討議されたるも獨逸政府の要求に對しては適當の酌量を加ふる事に決したり聯合國は特に佛國貨物を目的として發布されたる獨逸政府の輸入禁止令に關して調査を命じたり(巴里電報)

新政府組織案

十二月廿二日オルクツクに於て地方自治會及び市自治會代表者の會議開かれ内務大臣チエルヴエンヴオダリ氏大藏大臣パリージキン氏等列席したり會議は西伯利の法律秩序を恢復するに足る可き新西伯利政府を組織せんが爲め西伯利國民議會を召集す可しとの案を提出したり社會革命黨は同案に賛成したるも其他の黨派は近く一般地方自治會議召集あるを以て今回特に議會を召集するの必要なしとの理由を以て之れに反對し會議は何等決定する所なくして休會となれり(哈爾賓イルクツク電報)

過激主義者放逐

過激派ブフオード號は米國を放逐されたる急進主義者アレキサンダー・バークマン・エンマーゴールドマンを始め二百四十九名を搭載し過激派西亞の定港に向け出帆したり(紐育電報)

米對支投資方針

二千四百萬借款に付き日本が米國の勸誘云々に關し當地の米國銀行團關係者某氏は今朝某支那新聞記者に語る所ありて傳へらるゝ處に據れば米國の對支投資方針として一、舊銀行團の形式に依るものには勸誘せず若し米國を勸誘するの意思あらば何ぞ舊に舊銀行團より脱退する必要あらんや二、今後投資組合は新銀行團成立の基礎を作るものなり故に新銀行團成立は歡迎し經濟借款の如きも之に合して可なり日本が新銀行團に勸誘を欲せば宜しく滿蒙除外條件を撤回して誠意を示すべし云々(北京電報)

西伯利守備主張

張作霖氏は西伯利の守備は日本兵のみに委すべきにあらず支那も邊防軍を組織し守備せざるべからずと言ふ其の理由とする所は過日支那人多數虐殺せられたるによるものなりと(北京電報)

總督天機奉伺

二十八日午前齋藤總督は波多野宮内大臣宛電報を以て歳末に際し天機奉伺並に皇后陛下御機嫌伺ひの御披露奏上方依頼せり

海軍新計畫

十六年度勢力

計畫進捗 海軍の九年度豫算に於て最も重要視さるゝ補充計畫は大正九年度より十六年に亘る八箇年繼續の事業にして總額七億五千二百圓を以て前計畫に增設を經たる八六計畫に一歩を進め既定の八八艦隊一隊を完成せしむる事となれり從來の計畫は即ち大正十二年度迄に完了せんとする八六艦隊に於ても既成の主力艦中戰艦扶桑巡洋戰艦榛名霧島は十一年度に於て第一期艦齡滿了するを以て當然其の補充を爲すの必要に迫られたる一方に戰役終了後の世界海軍の趨勢も略見當附きたるを以て此際一歩を進め、我が最經濟的、戰略的位たる八四艦隊二隊の完成に向つて可及的の努力を爲し完成期を延長して大正十六年度迄とし左の如き艦艇を建造せんとせり

▲戰艦四隻 扶桑は十一年山城は十二年、伊勢は十三年、日向は十四年に各第一期艦齡滿了するを以て其代艦として建造

▲巡洋戰艦四隻 榛名、霧島は十一年に第一期艦齡滿了するを以て其代艦たる八六を八八に引直す爲めに增加する二隻の建造

▲巡洋艦二十隻 ▲驅逐艦八十二隻 ▲潛水艦七十五隻 ▲特務艦三十隻

一部削除 右の艦船を建造す可く大正九年より十六年に亘る八箇年繼續事業として海軍當局は十一億餘圓を要求したるも財政當局の容る、所となら

ず(以下續)

ずその結果は主力の戰艦及び巡洋戰艦の建造費は之れを削減するを許さず結局補助艦艇に於て多少の削減を見るに至れり其後數は戰艦四隻、巡洋戰艦四隻、巡洋艦十二隻、大型巡洋艦一萬噸級四隻小型巡洋艦、六千噸級八隻驅逐艦、卅七隻大型驅逐艦千噸以上級二十二隻、中型驅逐艦八百噸級十五隻潛水艦若干、河用砲艦五隻支那警備艦特務艦十二隻給油艦を主とし潛水艦及飛行機母艦給兵艦掃海船六隻となりたり從來海軍には此種の特務艦無かりしを大戰の經驗より特に其の必要を認めたるものなり

完成勢力 按前計畫の完成期即ち大正十六年度に於て第一期艦齡に相當するもの左の如くなれば

▲巡洋艦 十一隻 起工に着手せる分多摩、北上、木曾の三隻、建造命令受了濟又は契約濟にして未起工の分大井、長良、五十鈴、名取の四隻殘り四隻

▲驅逐艦 四十隻 一等驅逐艦十六隻二等驅逐艦二十四隻

等にして之こ新規補充に依る建造隻數とを加ふる時は十六年末に於て第一期艦齡の海軍勢力は左の如き計數を示す

▲戰艦 八隻
▲巡洋戰艦 八隻
▲巡洋艦 二十三隻
▲驅逐艦 七十七隻
▲潛水艦 約八十隻
▲河用砲艦 五隻
▲特務艦 二十二隻

以上は用兵上巡洋艦以下に不足の缺陷あるは云ふまでもなけれど一艦隊を兎に角基礎編成し得ることゝなれるなり

中樞院改革案問題

中樞院書記官長松永武吉氏談

中樞院書記官長松永武吉氏は滯京中の同院議長水野政務總監と同院改革案打合せの爲め廿六日關釜連絡船にて下關發入港の關釜連絡船にて下關發直ちに東上せり氏は往訪の記者に語る「從來朝鮮の中樞院なるものは只名目のみで政治上の權威は認められて居なかつた然るに齋藤總督就任と共に中樞院は即ち内地に於ける樞密院であるが如く政治上意義あるものであるは云ふ迄もなく殊に從來は議長の手によつて改革案が起草されたのである此改革案によって見れば從來は舊韓國大臣級を顧問として之に贊議副贊議が置かれてあつたが是れからは一樣に顧問とし中樞院で定めた事は朝鮮總督府に於ても十分認めしめ内外共に總督政治を徹底せしむると云ふ方針である此の改革案が議會へ提出される者で無論通過する事と察せられる顧問には内地人を併用するや否やは未定であるが多分併用せらるゝ事と信ずる尚ほ大道敎に對する總督府の態度は余の感知せざる處であるが同敎を普通一般の宗敎として認むるか又は政治的宗敎團體として根柢より撲滅するかが問題で目下考究中との事である」(關門支局)

入學の爲めにする豫備敎育を廢せよ(三)

某學務當局者談

優勝の成績を得られぬ 即ち卒業生の體育と學力との比較に於て次の如き結果が顯はれてゐる

▲卒業學力別發育率比較表

平均年齡	胸圍	體重	身長	人員	學力
一七、二	一九、二	米突六八、三	米突一、六〇	二八	優等
一六、九	一八、七	一七、一	一、五七	二四	上等
一六、八	一八、〇	一五、四	一、五二	三六	中等
一六、五	一八、五	一四、六	一、五一	二〇	下等

其の入學する際入學する以前に於て心身の過勞のため傷ふことによつて中學校又は高等女學校に入學の暁

には勿論その末席にさへついて行けぬことがありさすればこれ唯に敎育上の問題であるばかりで無く人道上の大問題と云はねばならぬ人は眼前の喜悦のため將來の幸福を犧牲に供してはならぬのは當然のことである朝鮮に於ける中學生の體格は内地全體に比較しての相違の比較に於けるそれと比較して決して劣らない方ではなく寧ろ確かに劣つてゐる京城中學校で調べた兩者の對照表を見て驚くのは年齡十三年より二十年に至る生徒即ち

全生徒 の胸圍が全國公私立中學校生徒平均胸圍よりも劣つてゐる事と十三四年と云ふ小學校より中學校に入つたばかりの生徒の體重胸圍が遂に全國のそれよりも劣つてゐる事である身長に於ては何れの年齡の時も優れてゐるが胸圍の何れの時代を通じても劣つてゐることは朝鮮に於ける敎育界の由々しき問題と云はねばならぬ小學校を卒業して中學校へ入つたばかりの年齡のもの、體重胸圍の二つ共劣つてゐるのは一體何を吾人に語るものだらうか身長は少しも劣らない生徒が體重胸圍殊に胸圍に於て劣ることは教育に關係する人ばかりで無く社會一般の人士の注意を喚起せねばならない問題である重胸圍の問題以外に近來學生に近視眼の增加してくる傾向があり又中學校へ入學の當初より甚だ多くの近視眼があることは統計で確かな數字は現はれてゐるがその過重なる豫備敎育もあらうが過重なる豫備敎育の弊がその一原因であるのは疑ふ餘地はない過重なる豫備敎育が體育に及ぼす影響の極めて甚大な事は言を俟たない事で直接使用する視力の減退は免るとの出來ない結果と言はねばならぬ

朝鮮に は中學校高等女學校の數が尠い爲め競爭の結果が豫備敎育を盛んならしむるものだこ斷ずる人もある勿論無競爭で入學が出來る程の學校があれば問題はないのであるが朝鮮は雖も他に比して數が著しく尠いとは云へぬ中學校は既に五校を數へ女學校は十一ある又入學志願者數こ入學者この率は内地のそれに比してよい方である然るに極端なる豫備敎育過重なる豫備敎育を行つて其子弟が兎に角入學試驗こ云ふ門を潛ればよいと云ふが如き

最愛の 子弟に對しては寧ろ最良の手段と云ひ得るであらうか甲も過重なる豫備敎育をやる乙も同樣にやる丙も丁もやる斯て年々標準線は高くなるばかりである犧牲になるのは徒に愛の子弟のみで折角入學しても體力及ばず中途で廢學するに至らずこも學力の進歩もなく氣息奄々他日の成業も覺束ない樣では實に悲慘な事で思慮ある人士の採るべき手段ではあるまい是非この弊を

根絶し 以て將來多忙なる年少者を救ひ此の悲慘なる狀態より彼等を解放してやらなければならぬ一人の喧騷者によつて全般の籠籍秩序が破らるゝものであるが此の病的現象も社會一般人士の覺醒に待たなければ救濟の出來るものではない敢て識者の覺醒を促す(完)

財界閑話

政府にしても銀行や會社にしても首腦部の更迭はよくその方針の變改を來さすものだ支店

の如きその一例であらう▲高長吏迭後の三井物産京城支店野省三君の支店長時代、君は米こ云ふ事に人一倍の趣味を有してゐたので支店の穀肥部は盛んに活動してゐたものだ絶大な三井の資力こ信用で縱横手腕を揮つたため色々の批評を一般より受くる事は免れなんだ▲辻新支店長の時代になつた、理由は非常に簡單で入り全く米穀より手を絶つ事になつた、理由は非報したが要するに危險は多く、儲けは之れに伴はず、手數はかゝる何かこ問題は起る、誤解も受ける、今日は昔こ違つて米の取扱に三井を要しないと云ふにあるらしい▲辻君は多年大阪支店の要部を占めてゐた人だがその着眼大局を誤らず、何事にも三井物産は世界的の三井物産なる事を忘れぬやうに見ゆる、よく語る人、又よく何事も財界の問題に要領を得た意見を有つた人である▲三井も是から色々の事業を朝鮮で經營するらしい三井の當面の代表者たる君の奮闘自重を望む譯である▲二十七日來の大雪で通信機關の被害は非常なものだ、さしむき困るのは京城市中の電話不通である、大晦日の切迫した一年中最も忙しい今日一般に取つては多大の損害こ曰はねばならぬ▲當局ではその復舊に全幅の努力を注ぐらしいが

米界大手筋の引退影響

鈴木京城支店は最近より共に鮮米の取扱を廢したるが之等大手筋の

米界引退 につき某有力者の談を聞くに多數米商には既して有利なるものこ不利なるものこ二種を生ずべし即ち有利なる向は三井鈴木の如き大手筋の引退は當然自家商團の擴大餘力を容るゝ譯にてその上米價の高下するその利も漸次大なる影響を來すべし殊に拔穀の増加を來すものもあるが但し三井鈴木の如きは從來一般的の米商は不利を唱ふる者は從來の鮮米は移出の方に於ても何れも有利ならざらん又今日の鮮米は内地の鑑識昂りその移出に往年の如き手數こ苦勞を要せず更に以前の警備交通の改善は鮮米の發達特に數年來の米價騰貴により各地の米商は概ね

相當利得 をなしたるにつきその内地商人この取引の如き必ずしも不圓滑を來すやうの事なく鮮米移出にこりて大手筋の退引はさまで大なる影響あるべしとは思はれず唯一の氣懸りは金融問題にあるべし各銀行が三井物産並に鈴木に貸出し居れる如き米商の融通を受くる事は言を俟たず之等の結果は或は其地買出しの減縮を來すにあらずや見らるゝにもあらず果して然らば朝鮮米移出方に若干の影響を來す如き事なきか尚は大手筋の引退により地方的米價の籠落は多少緩和されん何こなれば從來甲地に三井の買米の手廻れりこ云へば

噂は噂を 生み附隨商人の奔走こなり地方的に米價の狂ひを來す事ありこれらは今後の成行により明らかなり

金剛電鐵役員

金剛山電氣鐵道會社にては去る十六日創立總會を開き左の如く役員を選任したりこ

社長 久米民之助、專務取締役岡田竹五郎、常務取締役河東田經清、取締役馬越恭平、古市公威、古川阪次郎、矢野庄三郎、宋秉畯、監査役 知覺吉、韓相龍、牧山耕藏、山内伊平

東亞煙草決算

東亞煙草會社にては本年五月より十一月に至る第二十六期決算二十三日の總會にて決定せるが其營業成績は共に二千二百九十四萬二千二百八十五圓にして當期純益は五十六萬八千七百四十二圓なりこの純益金に前期繰越金二十一萬三千三百三十圓及株式額面超過金四十七萬三百卅八圓を加へ合計百二十五萬二千四百十圓の配當計畫は二十一萬三千圓年一割二分を株主普通配當金こし特別配當金として又十萬六千五百圓(年六分)を株主特別配當金こし其他法定積立金五十二萬七千圓別途積立金五萬七千圓重役賞與金二萬八千九百圓を差引き二十一萬二千圓を後期に繰越たり

殖鐵職制實施期

朝鮮殖産鐵道會社の職制は重役會議にて決定し目下その許可を總督府に申請中なるが同社は新設の事とて職制の實施は明年一月中旬頃ならんこ

東畜皮革擴張

株式會社共益社にては今回東洋畜産興業會社こ協議の上同社にて取扱ひたる牛皮の調製販賣事務の一切を擧げて東畜に讓り渡す事こなりたり

人事消息

▲高橋章之助氏(辯護士)平壤に出張中の處二十六日朝歸城

▲山口法務課長 赤十字打合せの爲め二十八日朝出發東京へ

其の日其の日

◇果然聯合國は、獨逸に對する回答に於て、内容緩和の色をみせりこ。換言せば即ち讓歩の回答を發したる也。一見奇なるが如きも、吾人は敢て不思議こせず。何こなれば道は吾人が初めより豫想したる所なれば也。其辭職狀み發せざりし事が、まだしもの面目也。若し此の調子にて進まば、講和條約は終に骨抜を要して、更に獨帝を奪而せば噫唯離なる記念記録こ化して取扱はれんのみ。而して此の始末には、聯合國の大政治家諸君は、言ひまくらる。の感念なきか。

◇米國頻りに大海軍計畫を爲す。元來米國海軍は、數年來確乎として動かすべからざる方針を定まらざるに、要するに擴張方針を以て進み來りしが、今回は世界平和の提唱者にして、正義人道の權化の如く主唱する同國が何等たらしめんこする乎。

◇中立を以て公認したる白耳義が、今度は固く中立を拒む。中立の持むべからざるは、北吾の經驗にて知れる結果なるべし聯盟は永久の平和を叫ぶも、誰か中立は、遂に何等の價値なき也。中合せの上の中立の如きは、泰平夢裡の一閑事に過ぎず。白耳義の中立拒絶は、又歐洲大局の一變を孕む、其結果や如何。

◇鰹汁白河次郎君逝く、彼は故田岡嶺雲、藤田劍峰、笹川臨風等こ共に、雄麗勁烈の文を以て、一時天下の青年を醉はしめたる人也。嶺雲死し、劍峰隱れ今又鰹汁君の訃を聞く、痛惜に堪へざる也。其の日子前年君こ月明太平洋上に觴を擧げ徹宵氣を吐き、更に再會を約して分れ未だ其機を得ず。咋一輸を投じて君に送りしに、君や既に無し矣。寸輸今日奈邊に迷ひつゝありや、嗚呼。

柳樽

劍花坊先生選

世界
○龍山 去衛門
世界の潮が押しよせる
○朝鮮 丸哉
渤海へ世界の潮が押しよせる
○先に、丸哉
婦人、世界によく馴染み
○龍山 死口
長男は婦人へ來た世界風
世界地圖獨逸の色が褪せてる
○東京 乂坊
月世界今は兎でまされず
桐一葉獨逸に落ちて秋に成り
星の數あれが三千世界なり

本號八頁

婦人世界 新年號

有ゆる新聞雜誌こ關係を絶ち獨り本誌にのみ執筆の約成り潛心構思大努力と大自信とを以て發表したる一
小杉天外氏稀代の新傑作
長篇小説 二代地獄 本腹妾の卷
妾腹の美少女と本腹の美少年を中心こして先づ筆を起す
夕霧の町の四ツ辻に咲き出でた美しい花!それは妾腹にでき長女であました、本腹に生れた潔い感情の持主である少年は白粉の香を嗅ぐまで側近く寄つて何事を囁いたでしようか、病兒を抱いて良人の歸宅を待ちわぶる良妻の胸の中をお察し下さい

長篇小説 寶玉 上司小劍
三代地獄こ共に新に現はれたる文壇の明星上司氏苦心の大傑作
胸に寶玉を抱いた純潔な婦人が新婚初めて二年ぶりに迎へて良人の留守中に胸裡に描き出すは何の面影でせうか

蓬萊島に渡る記
蓬萊の島とは何處?島の男女は水仙の香こ椿の色に醉うて聖代の春を歌うて居ります記者實見

中仙人と語る記
東京の片ほこりの穴の中に浮世を睨んで人生觀を談ずる仙人を訪ひ大に議論して來ました…

男が女に苦心なる
男性が女性を表現はすは中々六ケしい歌舞伎衛門こ梅幸の苦心談趣味津々ですお聞き下さい…

獨身女の惱み
獨身者や晩婚者の多くなつた現代には特殊の性的生活が行はれます若き女は何を知るべきか?

混血兒の母の性素
人を父に日本娘を母に持ちたる現代文壇ハ新怪星萬人コセキー大泉黒石氏自由の日本文

特別增頁大附錄
(小說)鈴蘭の花 久米正雄
(小說)瓶の中に居た人 與謝野晶子
(小說)一輪車 山田邦子
(小說)黄金魔 鷗巢 吉二

短劍を持てる女
佛國革命の暗黑時代に一輪の名花が咲いて逝んだ壯美の物語

露伴氏の文話
本邦文壇の老將幸田露伴氏は本號より獨特の文話を載せられます

婦人の必ず讀む物
東京で流行の新しい束髮 正月の飾り物 下田歌子
問題の家庭料理 早梅の盛況
暖かい手袋の編み方
古家を半洋風住宅にする工夫
衛的婦人の下着
雀斑(そばかす)は治るか

本號一冊四十錢郵稅二錢 半年分…一年分… 東京京橋 實業之日本社 振替東京

▽全國七萬の女敎員諸姉!
本誌は本號以下數號に渉りて社會に向つて聲を大にして
女敎員待遇の改善
を絶叫し冷遇の實情を訴へます…
女敎員の三不思議
…大切な次代國民の基礎敎育を受持つ女敎員が此まで冷遇しそれでも完全な敎育が出來るこ思ふのが不思議、それでもドンドン女敎員が殖ゑるのが不思議、この米の高いのに斯る薄給で暮して行けるのが又最も不思議であります

此病ある人は必ず見よ
糖尿病と腎臟病の治療
石井弘寬氏が多年の研究の結果を本號より發表せらる…

謹告

拜啓各位益々御多祥奉賀候陳者弊社牛皮ノ御取引ニ就テハ不一方御引立ヲ辱フシ難有奉謝候然ル處先般設立相成候東洋畜産興業株式會社ニ於テモ營業ノ一部トシテ牛皮ノ調製販賣ヲ從事セラルル事ト相成同事業ノ改良ニハ專念努力セラルル次第ニ從來ノ趣旨ト一致致居候ニ就テハ朝鮮皮革業統一ノ見地ヨリ今回協議ノ結果專門的同社ヘ讓リ候事ニ致シ候間何卒將來共弊社同樣御引立ヲ賜ラン事ヲ願上候
大正八年十二月二十八日
京城南大門通二丁目
株式會社共益社

陳之通り今般株式會社共益社ヨリ同社營業ノ一部タル皮革ニ關スル業務一切ヲ弊社ニ於テ讓受ケ候ニ就テハ專ラ誠實ヲ旨トシ從事可仕候間何卒共益社同樣御引立ノ程偏ニ御願申上候敬具
大正八年十二月二十八日
京城南大門通四丁目
東洋畜産興業株式會社

丸善 萬年筆用 オリオンインキ

旅行中に付き年末年始欠禮仕候
阿川重郎

弊社儀去る十一日會社成立以來東洋拓殖株式會社京城支店内に於て本店假營業所開始致居り候處本日左記の處に移轉仕候此段廣告候也
大正八年十二月廿五日
京城南大門通貳丁目拾貳番地
西鮮殖産鐵道株式會社
電話(二)一六七〇 二二五二

實習本位一ケ月卒業 自動車運轉手技術者養成 卒業生收入爾ら多し
日本自動車學校
毎月一日新學期開始 東京蒲田日本自動車學校へ規則申込へ

年末が來た
ナイル萬年筆御用意??

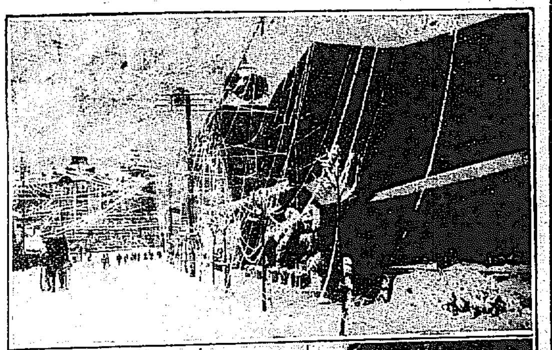
萬年筆用 香入ナイルインキ
定價三十五錢以上 各有名ナル文具店ニ有之
目錄御申越次第發送ス

發賣元 京城本町一丁目 株式會社大澤商會京城支店 文具部
電話長 二六二番 三一九番 四二二番
振替京城 一三八〇〇番

喪中に付年末年始缺禮仕候
京城旭町二丁目
西村格

雪の京城

(上)公會堂の屋上から瞰下した全市の雪景 (二)長谷川町 (三)東大門電車の立往生 昨夜十一時撮影 (三)朝鮮銀行前雪(四)達磨



陸しとも陸し 全市六花に埋もる

積ること五寸餘

通信交通機關悉く杜絶す 懸念されるは電線の復舊工事 全鮮に亘る稀有の大降雪?

二十七日午後三時過ぎから霏々と降り出した雪は、日が暮れ夜に入るに從つて愈々降り頻り月無き夜をほのぐ照す電明りに天地は唯一白の裡に包まれたやうであつたが更闌くるに及んで少時霙と交へ、又雪と化し、降りみ降らずみ曉近くに降り歇んだ。夜の帷地を捲へば唯見る滿目皓々!地上の物總て純白の衣に包まれ滿都は白沙の玉宮と化した、積る事五寸近年稀に見る大雪であつたが其影響も亦稀に見る甚大なるものがあつた。

坪當り四斗八升

氣溫は例年より溫かい 全鮮に亘る降雪と觀測される 京城測候所の觀測

職に從する[illegible]閉して京城測候所を訪ふと測候所は二十八日午前語り

各地電報 がバッタリ入らぬので精確な天氣模樣が別らず困つてゐた一所員は語る『何しろ近年珍らしい大雪ですが廿六日來現はれた低氣壓は冬季としては稀なもので七百五十六粍と云ふ數を示してゐたが此低氣壓が山東半島、黄海と進んで行つて朝鮮西岸沖合から廿七日は朝鮮中部を橫斷したので忠淸南道全羅南北道京畿道一帶は此降雪となり其他

全鮮に亘 つて多少の影響があつたらしい更に九州方面にも副低氣壓が現はれて北東に進んで來た關係で朝鮮海峽下關長崎方面も多少影響があつたやうですが廿八日午前の電報が入らぬので分り難ねます。氣溫は廿三日から今朝迄ズッと例年より溫かく今朝午前六時には氷點下零度三分ですから平年に比して六度四分、例年平均に對して

五度六分 も溫い譯です

京城の雪は二十七日午後四時頃から降り出して今朝漸く降り縮みました降雪量は午前十時の觀測で約二十六粍ですから坪當り四斗八升降つた勘定です深さは十四センチ五ですから約五寸です本年の此暖氣であるから降雪の下部は幾分溶けてゐるが若し全く溶けなかつたなら六七寸にもなんだでせう。今後の天氣模樣は先づ此低氣壓が通過すると滿洲方面の高氣壓が

全鮮に擴 がるので天氣も定まり氣溫もグッと下降するでせう元月は寒い〳〵好天氣だらうと思はれます』

通信交通の打擊

電信電話線の切斷 電車の運轉不能 今晩の電燈は大丈夫?

降雪の爲めに最も甚だしい被害を受けたのは電信電話の架空線である。電柱から電柱の間に張り渡した數十條の電線は白色の太綱と化し雪の重みでたわんだ樣は恰も

白布を懸 け連ねたやう 束ねて鋏で斷落した如にゾックリ切斷された電線は路上長く綫を曳いて市內の至る處に時ならぬ雪條綱を張つた。從つて市內の電信電話は全部不能に歸し通信機關は一時杜絕のむなきに至つた。道路も皆く積雪に埋もれて家々から出た雪搔き人の苦心で一條の通路を造るまでには相當の時間を要した。電車は

朝來不通 だつたが間もなく回復した。電燈は引込線の一部に故障があるに止るから大部分は夜間の送電に差支あるまいとは不幸中の幸である。

電線の被害 鍾路署の調査

電燈電話線の切斷箇所甚だ多く鍾路署管內に於る被害數如左

▲鍾路一丁目より安國洞に通ずる堅志洞幹線第一柱より十五柱迄の電話線九條乃至十二條切斷▲光化門通より西大門及び宗橋附近は電話線六十本、電燈線三本切斷▲都染洞五箇所瑞麟洞七箇所▲樂園洞三十本▲惠化洞一ケ所▲孝悌洞六箇所、鍾路五丁目一箇所の電話切斷其他東崇洞松峴洞にも數箇所ある由本町署管內に於ける被害は調査中なりしが各町に及び電話線の被害あるも

工務課 眼を廻す

工兵隊の應援? 工夫狩集め計畫 もの・如し

工務係を訪へば工務幹部は地圖を案じて鳩首協議中であつた某一員は語る『只今岡本工務課長は龍山工兵隊の應援を乞ふべく自動車で飛ばしました一方には元山、平壤其他の各方面の電信工夫を急遽來援せしむる手筈にして居ります何ごも不可抗力でどうも』ご頗る多忙を極めて居た

弱り目に祟り目

年末多忙の時に際し市內電話線の全滅 復舊期は見當が附かぬ 河田電話係長談

『市內電話は殆ご全滅です歲末多忙の期に際し困つたものです丁度二十七日夜九時頃より漸々斷話不通を生じ午前零時には二百五十餘箇所三時半には千三百箇所八時には千七百箇所十時には二千七百箇所の不通を生ずるに至つた

市外線も 二十四回線の中十一線は不通となり京仁間は八回線中五回線丈け使用され京城龍山間は全部異常なく沿線中の春川、平壤、開城、水原、議政府間は異常なく其他殆ご不通の狀況です斯うした大雪に對する豫防方法としては鋼線に代ふるに鐵線を用ふる事ですが然し京城には從來今回の如き

大異狀を 來した前例がなく從前の雪はサラついて電線に附着しなかつたが昨夜の雪は水分を多量に含んで居た爲め附着し電線一尺に付き約百三十匁の重さとなりましたから切斷も無理ではありません切斷しない所もたるみを生じた場所は之を調正しなければならず唯今の所復舊期は一寸見込が付きません』

龍山方面も大弱り

京龍間の電車杜絕 聯隊では壯烈な雪合戰 電線の被害も夥しく

積雪五寸是だけ積つたのは今年始めてとて子供と犬の悅びは大したもの朝早くから子供のある家では戶毎に雪達磨をこさへ是を見た大供迄羨ましがつて偉大なのを造つて悅んでゐるのもあつた電信電話線の被害は夥しく殊に南大門驛前鋼崎町停留場より古市町停留場中間の如き宛ら蜘蛛の巢を亂したやうである午前十一時頃から京城市內は辛うじて電車が通じたが午後に至るも

龍山は電車 が通ぜず押し迫つて暮だけに龍山の人は

可なり困窮した陸軍部隊では幸ひに日曜でもあるので週番士官指揮のもこに雪搔きを兼ねて壯烈なる雪合戰を催し盛ばかりは寒さを知らぬやうであつた。

兼二浦は 積雪一尺

尙降り續く

兼二浦は夜來の大降雪に廿八日朝積雪一尺に達し尙降り續けり兼二浦にては稀有の大雪なり(兼二浦特電)

龍山署の 忘れ物

禪まで有る

押し迫つた年の瀨も流れ〳〵てもう後四日しかない忙しない人の心は其の小刻みの足取りにも自ら現はれる道に慌たゞしい姿だけあつて忘れ物落し物も随分多い龍山署の受理した拾得物として屆け出での品々を調べると十二月一日から二十七日までに四十餘件ある、最も多いのは蟇口で多いのは三十錢多いのは二千餘圓と云ふのもある奇拔なのでは自動車のタイヤ風呂敷包の鍵箱、其の中には鑑札の着いたのと澤庵が二つ這入つてゐるのもあつた質札二枚は如何にも歲末らしい心地がする足袋の片方、越中褌、ステツキ、洋傘、萬年筆、歩兵聯隊の外出證、バスケツト、魔法瓶等種々雜多である、龍山憲兵署に屆けられたる拾得物は大抵待合の忘れ物か電車內の忘れ物である女物銘仙の著物二枚は泥棒が慌て置いて行つたのか係員の話に依ると例年二十八日から大晦日までには拾得物が急に增ゐるさうで或る時の如きは判取帳や額面の多い小切手もある事があるさうだ

救護班巡回 と施藥患者

成績良好

臨時防疫救護班巡回に際し鮮人間には往々法定傳染病と同視し患者を隱蔽せんとするより警察にては町及び洞總代と協議し一般鮮人を納得せしめたる結果自ら進んで診察施藥を申出でるに至れりと本町鍾路兩署に於ける二十五六兩日の診察及び施藥人員左の如し

▲本町署(廿五日 七名 廿六日 四名)

▲鍾路署(廿五日 四十四名 廿六日 二十二名)

怪しからぬ易者

府內水下町五趙[illegible]は同府洞廿一吉賀田[illegible]は毎日多數の鮮人を集め符呪を爲し吉凶禍福を說き私腹を肥し居たる者なるが曾て一鮮人が時局に對する問題を判斷せしめたるに來年三月には必ず獨立すべしと宣告し『雪恥顯進到來云々』と記し與へたる事を本町署の探知する處となり二十五日同署に引致取調べの末拘留廿五日に處せられたり

運動界 スケート場の新設

一月四日に開場式 朝鮮商銀コートに

朝鮮體育協會では過般來スケートを一般的に奬勵すべく京城市內に一大スケート場新設を企圖しつゝあつたが此程かの明治町の朝鮮商業銀行コートにスケート場築造の工事を始め廿九日には全部竣成する筈である該スケート場は

約五百坪 千燭光の電燈一箇二百燭光二箇其他多數の電燈を點ずるので夜も明煌々として白晝のように明るい、之に附屬して休憩室の設備があり絕へず湯茶の用意がしてある由協會では晝間は業務を有する紳士淑女の體育機關としては

夜間開場 も必須であると云ふ意見で夜のスケートには少しの不便もない設備をしたと云ふてゐる此スケート場の使用料は會員組織で一箇月二圓、但し學生は半減男女とも入會隨意で入會希望者は端書にて體育協會事務所(京城御成町三二〇電話三〇九〇番)萩森氏宛に照會せらるべしと、來春一月四日同所に於いて盛大なる開場式を擧行する由である

灯頃

▲國民大會騷擾事件の一味である韓南洙外十六名の判決が十八日午後一時から京城地方法院で開かれたが此連中に三名ばかり儒生の頑冥不靈なのがゐて公判の際には橫になつて日本の裁判を受ける必要がないと豪語したり俺は國の爲に忠義を盡してゐるのに監獄へやると云ふ詮議をしたのは何奴だと判官を白眼廻したのがゐる▲此不逞漢の身元を洗ふと舊韓國時代から今日迄監獄にゐるか居住制限の島流しになつてゐた前科數犯と云ふ名代の男なので判官達も手を餘したさか。

連絡船上陸客

[illegible]吉、永尾有太郎、名延一、吉倉巳、岩田昇、篠塚梅子、佐伯導信、三田助、白潤慶、濱田利七、鄭子鳴、等(一三三名)▲廿七日朝入港高麗丸二等船客[illegible]良作、佐々木昇七、山本三吉、米竹村莫三郎、山川好三、佐伯弼、[illegible]つ、遠藤みき、水島はる、吉田ふ[illegible]金三、阪川久子、宇土野たね、瀧本菊五郎、大山德一、寺本孝太、み、伊勢木共松、村上まつ、西山[illegible]內山ふじ、梅本かつ、大西やゑ、郎、同しげの、淺野次市、同花代、こら、櫻井むめ、白崎部江、[illegible]島晉吉、土肥政一、三好益郎、野小公のき江、淺野きみ、石川深渭、楠子、金子まさ、倉井つる、[illegible]中健、岩井きよみ、藤田貞代、金楠忠雄、長谷川恕太郎、中野寅、せい、外人一名、三等三二五五名[illegible]

朝鮮チゴマ

[illegible]里道路に於て慘殺されたるは既報の如くなるが開城警察署の大活動の結果十九日府內同郡同里東幕上里二百六十六番地[illegible]平嘲明方に十九日[illegible]すべし我等には刀あり銃ずあり[illegible]汝の告は我等の手にありと云ふ[illegible]

商業登記公告

一、內國通運株式會社(變更)
一、大正八年拾貳月拾六日左ノ地ニ支店ヲ設立ス
豐前國小倉市西魚町壹番地、越後國高田市大字高土町[illegible]番地、陸前國牡鹿郡石巻町五拾八番地、陸奧國中津輕郡[illegible]德村大字和德拾六番地
一、同日左記ノ者會社ヲ代表スヘキ取締役ニ就任ス
[illegible]代表スヘキ取締役三上豐夷
一、同日左記ノ者監査役ニ就任ス
北豐島郡高田村大字雜司谷五拾壹番地小原達明、豐多摩郡代々幡町大字代々木貳百貳拾五番地佐々木要一
一、株式會社朝鮮銀行(變更)
大正八年拾貳月貳拾壹日關東州大連市大山通貳丁目四拾壹號ノ支店ヲ左ノ場所ニ移轉シタリ
關東州大連市第參區ツ號地壹番地
右大正八年拾貳月貳拾五日登記
京城地方法院仁川支廳

拾得金公告

一金六拾壹圓也 外壹点
右八十二月二十六日拾得屆出アリ心當ノ者ハ申出スルヘシ
京城本町警察署

小切手紛失廣告

一、番號 〇八八二
一、振出人 建部喜三郎
一、支拂人 百三十銀行 當座小切手
一、金額 記載ナク捺印シアリ
右紛失候ニ付無効トス
大正八年十二月二十七日
京城本町四ノ一三三 建部喜三郎

喪中に付歲末年始缺禮仕候
仁川 川手今吉

喪中に付年末年始欠禮仕候
京城旭町一丁目 高瀬梅

最高の權威を握れる

京日案內

外勤社員招聘 希望者は午前中履歷書持參あれ 京城府黄金町三丁目二九一 太陽生命保險會社京城支部

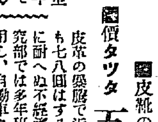
△女集金係入用 廿四ヨリ四十五マデ保證人ヲ要ス月收五拾圓本人來談ノ事 明治町二丁目 岡村介石

年金恩給 長期低利 立替可致候 祭日ヲ不問 京城永樂町二 西本願寺表門下角 江州屋本店

▲古本高價買入 ▲遠近多少不論御報參上▼ 京城本町二ノ九 文光堂書店

恩給立替 金は請求同時に御用立可致候 京城若草町郵便ポスト前 西村商會

P式 總ゴム靴



堅牢で◇經濟で◇德用なる

日本で始めて出來た 皮靴の三倍以上保つ
價タツタ 五圓五十錢

皮革の暴騰で近頃はボックスの粗末な皮靴でも七八圓はする、それで二三ケ月位しか使用に耐へぬ不經濟なものである。弊商會化學研究部では多年研鑽の結果歐米最新の學理を應用し、自働車タイヤの製作法に則り、漸く完全無缺の純燒きゴム靴を發明し、最低價で堅牢無比の逸品を製作販賣す。
左に本品の特徵を擧ぐれは
一、從來のありふれたるズック製裏ゴムの靴でなく全體純ゴム製である
二、耐久力の强靱なること皮靴の三倍以上である
三、體裁は高尙で優雅殊に履き具合のよき歩行の輕快なること到底皮靴の比にあらず
四、本品は靴墨の必要なく絕對に防水なるか故に汚れし時は水で拭ひ又用ひらる
五、多は防寒に適し夏はサラリとして氣持よし
今回實物披露の爲め壹千足を限り黑總ゴム製短靴製作實費 五圓五十錢 と云ふ驚く可き安價で提供す。御註文の節は足袋の文數を詳記せられたし、前金は送料卅錢、代金引換は四十錢にて急送す。至急御申込あれ 近來僞作品多しP式に御注意あれ 御氣に入らぬ時は返金もする。
東京京橋區北紺屋町壹番地
日米商會ゴム部
電話京橋一四一二・振替東京三三〇六八

母乳に等しき乾燥天然乳 ラクトーゲン

▲育兒用として母乳に等しき結果を得る理想的品なり
▲病弱者御回復期の人病後快復期或は老衰者、肺病患者の保固滋養食料品なり
▲製菓原料として又一般家庭の常用品として牛乳、コンデンスミルク等に優る事數等なり
▲殊に夏季諸物腐敗し易き際最も安心してアイスクリーム、コーヒ其の他一般飲料に供し得可し
▲輕量にして携帶に便なれば一般旅行者の必需最適品なり
▲二重蓋彩色鑵入として進物用最適品なり
發賣元 朝鮮釜山府辨天町三丁目四番地
中島釜山支店
電話長六〇三 振替京城二一三〇 電略(ナ)又ノ一ナカ

セキドメボンボン

菓子の如き甘味を有し咽喉氣管の加答兒を治癒し痰咳を止め息切を防ぐの効を奏するのが此藥の現代的な特色であります。
◇各地藥店にあり
喫煙患者、音聲家、運動家、旅行家の人々に此世界的名品をお薦め致します。
大罐 壹圓 中罐 六拾錢 小罐 卅錢
京城本町二丁目 株式合資 利光堂支店

論山精米株式會社

謹啓時下嚴寒の候愈々御清昌之段奉大賀候扨弊社儀從來組合組織にて精米業相營み居候處御陰にて順調に進み今日の隆昌を見るを得候は全く諸賢の御引立に因る賜と感銘の至りに不堪候然るに時世の趨勢に伴ひ業務擴張を圖るべく今般資本金五十萬圓也を以て株式組織に變更し計畫中のものこして工場の增設其他機關の設備もこ改善し取引上の圓滑を目ざし精々勉强可仕候間多少に不拘何卒御用命の程伏して奉懇願候先は乍略儀紙上を以て御挨拶旁此段謹告仕候也
大正八年十二月
論山精米株式會社
取締役社長 森田泰吉
專務取締役 梶原菊造
常務取締役 林田久仁男
取締役 有馬高孝
相談取締役 林田金次郎
監査役 橋田駒次
同 藤本忠次
同 平春富藏

殺人犯逮捕 本月十七日 …… 踏み込み逮捕したりと …… 前井戸傍に百圓を白紙に包み …… ち來れ然らざれば我等は豫定の …… も未だ逮捕するに至らざる由

……巳吉本參一、小野武雄、細田た、野口末吉、吉田令太、高橋昭巖、……栗田さき、山中なか、安川伊勢、井耳、栖東美嘉子、西成榮吉……ま、井田孝平、二事（八二名）阪上村木眞八、……富三、長瀬ます、岡田むら、山本山口てつ、藤井はつ、岡千代子、小三郎、友永賢太郎、同國子、坂吉村清子、山下きふ、田公賓三九つ、星野むら、相田さと、赤萩織吉、同賜助、同要助、同き、横三は……

禪堂生活（十九） 入間の改造

役位

暫くする内に雨安居が來た。雨安居とは夏安居のことで、四月十六日から七月十五日まで、即ち寺に禪堂にありて道業を修することを云ふ。冬には十月十六日から翌年の一月十五日まで、雪安居と云ふのもある。衲は初めて知客寮と云ふ役位を申付けられた殿司と云つて祭祠役も兼ぬる役になつたので、其の忙しさつたらない。朝は午前二時と云ふ世間での

眞夜中頃

に一番起をせねばならぬ。最も冬は午前四時頃に起るのだが、そして起床の鈴を振つて禪堂と常住の大衆を起さねばならぬ。暫くして又開靜の半鐘を打つ、此朝の維那は殿司の前にやれこのことであつた。維那とは六知事の一で、衆僧進退威儀を掌るのであるから、知々の大役だ。尤も困るのは回向と云ふ讀誦である。それに睡くて堪らないのだから遣り切れぬ。精一杯我慢はして居ても、遂にコクリッとやる。其の時

木魚が止

んだからハッと思ふて、餘り美しくもない聲を張りあけて、上來諷誦までは好かつたが、まだ練習の足りない悲しさ、遂に佛名を間違へて仕舞つた。それから行きつまる老大師からは叱られる、衲も遂に閉口頓さるを得なかつた。やつと朝課がすんで、ホッと一息する間もなく、また曉の三つ鐘を撞かねばならぬ。これまで隨分永い間、聞いてはゐたが、サテ

局に當る

と迷つて仕舞ふ。三つの鐘を五つも鳴らしたので寮頭から叱られた。すると同寮の破兄が三つの鐘五つ撞き殘る響きが今生の、大叱られの聞納め、寂滅爲樂と響くなり、鐘ばかりかは回向まで、やれ情なと見上ぐれば、雲心なき水の音、宗峰泣いた影映る、天門山の夏の朝、殿司寮の失敗を

記錄に長

く殘し讀く、鐘と燈光の一くだり語り上ぐるも面白しなぞと近松の曾根崎心中の作り換へなんかして冷評ではないか。然し衲も此の戯の夜の名殘り鐘ならく此身を聲ふれば寂門古則の一端を、人に示すも奇特なり」と

洒落れて

僅にお茶を濁した。禪座朝食が濟んで間もなく朝の喚鐘が鳴る。朴老と云ふのが『張公酒を喫すれば李公醉ふ』と云ふ解らぬと云つて首を捻つてゐる。其の姿が餘り可笑しいので『禪堂の朴老禪を喫すれば常住の宗榮腹張る』と小聲で……

情氣て歸

の俺走つて參禪した暫くすると朴老は。大いに情氣て歸つて來る樣子一寸側に近寄つて、どうだつたと云ふと、駄目だ〳〵、老大師は白雲萬里だと云ふんだもの。佛頂面をする。自分の修行當時を追想して轉た同情に堪へぬやうな氣もした。衲は日中の諷經を濟ましてから午後或る檀家に諷經に行つた。其時衲の眼に映じたものがある。

特産物現況 銀行の警戒と一般手控

年末月は各地を通じて一般非常なる不作なりしと出廻り期に至り銀の騰勝及び不正帖の發生を來したる爲甚大なる打撃を被りたる特產物界は既に活躍を期に入れるにも拘はらず未だ例年の如き活氣を呈するに至らず取引遲々として何れも今後の成行きに付顧る警戒し觀望に形勢觀望の狀態を續けつゝあり

高低說に

就ては各地の相場を異にするも大體に於ては十二月中旬の相場四圓六七十錢を中値とし最低四圓二三十錢最高五圓として大なる變動なきと共に下落を告ぐる如きは萬なかるべしとせられ居れり昨年の出廻り數は貨車配給不足其他にも基因するも一時は堆貨のみにて卅萬噸を越ゆる程にて總計約百萬噸と稱せられたるも其後數七八十萬噸を下らざるべく本年は一般不作其他の結果として多少の減少を來すべきも一部の言ふ如き二三割以上も減少を告ぐる事無かるべく殊に昨年迄は出廻らざりしアンダー方面より多數出廻りあるべきを以て或ひは大なる差違無からんとの見込なり、滿鐵の

混合保管

實施による影響としては大連との相場接近して從來見る如き非常なる差違なく亦一箇月或ひは夫以上の日數を經ざれば大連に於て受けられざりしものが出廻り近々十日餘の短時日にて完全に取引するを得る利便を感じつゝある位にて現在の處他に大なる變化を來し居らず只大手筋を別とし小規模の營業者に諸種の關係よりして多少打撃を蒙る者あると混保に重きを置くを以て自然混保にあらざる普通取扱ひ難澁の

輸送遲延

しがからざる迷惑を感じ居る者あり赤際係りに於て順調に引受を續けられ居……

て一時に輻輳したる場合或は多少問題とならざるやとも云はれ居れり要するに特產物の現況としては殊更悲觀する程度には至らざるも昨年に比すれば一般多大の影響を蒙り居るは事實にして一面確實なる方面は何れも自重して漫りに手を下さず徐ろに形勢を窺ふのみにて其他ブローカ的小商店にては銀行の警戒と共に手を出して却て苦境に陷る如き有樣なるが品物不足他の爲取引困難となれるの之に產物商の多くは取引手控の資質により殆ど其營業を持續しつゝある模樣なりと聞く（長春支局發）

百濟商事創立（天安）

天安百濟商事株式會社は資本金三十萬圓にて創立一同株の拂込を了し二十一日天安邑內李某方に於て創立總會を開催し定款を定め續いて役員選擧を行ひたる結果取締役社長に男爵閔泳徽、專務取締役閔泳徽、取締役黃倫相、尹炳璇、金東鉉、以上五名監査役は李相璇、李某永、柳明烈、以上三名選せり然して其重なる業務は內外物產の賣買倉庫業運送仲介及び委託代理其他金融等の目的にて來る一月廿日頃開業の筈也

卒業式擧行

旅順工科學堂第七回卒業式は豫定の如く二十三日午前十時半講堂に於て擧行さる來賓には林長官、立花軍司令官、松村要港部司令官、野村滿鐵社長其他にて先づ富田堂長の式辭及び卒業生に對する告辭あり、次に林長官の訓辭、野村滿鐵社長其他の祝辭あり、之に對し卒業生總代吉浦謙氏の答辭を以て閉式せり因に本年の卒業生は各科を通じて五十四名なり。（大連）

全州の猛獸狩り 守備隊と本社支局の主催で

全州守備隊及び本社全州支局は來る一月三、四の兩日全北新里附近に於て大々的猛獸狩大會を擧行する事に決定したるが當日は横田守備隊長を始め吉田中隊其他將校連參加すべく尚ほ兵士の志氣を鼓舞の爲め多數の兵士を引率し全山狩立猛獸を生擒する意氣込みなり又當日は一般好獵家の參加を希望す尚當日は軍隊より大釜を持參し焚き出しを爲して一般に振舞ふ筈なれば揮つて此壯擧に參加ありたし參加希望者は全州京城日報支局又は全州守備隊に申込る可し（全州）

染料工業創立

資本金百萬圓の滿鮮染料工業株式會社の創立總會は二十四日新義州公會堂に於て開催寺尾德母氏創立……定款の承認役員選擧等型の如く無事終了午後散會せり重役の選任せられたるもの左の如し

取締役社長寺尾德母▲常務取締役小川義雄▲取締役高橋貞二▲杉原佐一郎▲加藤錢次郎▲阿部國造▲山本室房▲令村治作▲監査役横江重助▲松隈哲次▲鍋井仲藏▲相原多田榮吉▲王箱東（新義州）

仁川の餅搗 滅法な景氣

滅切

り餅の量が減るかと想像されてゐたが事實は反對で夥しい註文仁川でも糯米七十五錢平均で搗賃が二十錢一升の所で先づ九十五錢乃至一圓はかゝる、それであつて去年五升で我慢した家でも都合では一斗も搗かうと云ふのであるから物が高いと云つても

景氣

は先づ上の吉と謂はねばならぬ仁川の賃餅屋丸山の主人は語る『一升二十錢の搗賃は去年から見れば五六錢は高いですが之も物價昂騰の砂り燃料だけでも並大低に行がぬのみか人夫賃も去年の比較じやありませんからね

賃餅

も少しじや餘り儲けになりません、今年は餅が減るかと思つたらそうじやありませんも少くはない景氣です成るべく早く註文して戴かねば押し詰まると搗切れぬ程の註文が殺到するかも知れません夫程今年は割合に搗數は多いのですマア景氣は滅法ですね』と（仁川）

が押し詰まつて杵の音漸く忙しく景氣の好い搗氣分が街々の軒先に滿ち充ちて來た賃餅屋の店頭に景氣の好し惡しみ窺ふ事も出來るが今年は一升一圓と云ふ呼び聲に脅かされて

旅館値上（光州）

諸物價昂騰に伴れ光州旅館組合は宿泊料二割方の値上げを其筋に出願したるが近く許可の筈なりと云ふ

奸商取締（大田）

大田署にては諸物價騰貴の折柄歲末に際し奸商取締の爲め二十四日各辻々に巡査を配置し各種商店の注文品物配付の檢査をなしたるに白米一斗に對し二合位の減量ありたると甚だしきは百目の注文の昆布に對し七十目位のもあり是等不正商店に對し夫々說諭をなしたるが今後は一步も假借せず嚴重なる處罰をなすべしと云ふ

◎婦人會支部長招宴（光州） 今回任命されたる愛國婦人會光州支部長亥角ミチ子夫人は廿六日午後一時より官邸に於て支部役員四十名を招待し新任披露宴を……

◎染料會社重役會（新義州） 滿鮮染料工業株式會社の第一回重役會議を二十六日午後二時より安東公會堂に於て開催業務引繼其他の件に付協議せり

京城府告示第二四號

大正八年度京城府歲入出更正豫算左ノ如シ

大正八年十二月十七日 朝鮮總督府府尹 齋藤禮三

大正八年度京城府歲出更正豫算

歲出 經常部

第十五款 雜支出 金四千二百二十四圓

第十六款 第一項 日用食料品市場費 金二千八百圓

第二項 明治町市場費 金千七百十圓

第三項 鍾路市場費 金千二百六十三圓

第十七款 豫備費 金一萬六百四十九圓

經常部計 金四十三萬千五百二十六圓

臨時部 第一款 臨時手當 金四萬八千

第一項 臨時手當 金三

臨時部計 金四十八萬七千九百十

歲出合計 金九十一萬九千四百四十三圓

京城府告示第二五號

大正八年度京城府歲入出追加豫算左ノ如シ

大正八年十二月十三日 朝鮮總督府府尹 齋藤禮三

大正八年度京城府歲入出追加豫算

歲入 經常部

第一款 府稅 第四項 營業稅 金七千二百十四圓

經常部計 金七千二百十四圓

歲入合計 金九十一萬九千四百四十四圓

歲出 經常部

第一款 事務費 金二千四百九

第一項 雜給 金二千四百九

第三款 土木費 金九百卅六圓

第五項 道路橋梁費 金九百卅六圓

第四款 傳染病豫防費 金百六十一圓

第一項 傳染病院費 金百六十一圓

第五款 汚物掃除費 金六百一圓

第一項 雜給 金千八百

第六款 屠獸場費 金二百五十

第一項 雜給 金二百五十四

第七款 墓地及火葬場費 金百

第二項 火葬場費 金三十四圓

第八款 公園費 金七十一圓

第一項 公園費 金七十一圓

第十款 警備費 金六百七十七圓

第一項 雜給 金六百七十七

第十二款 基本財產造成費 金

第一項 基本財產造成費 金

經常部計 金九十一萬九千四百四

歲入出差引殘金ナシ

商業登記公告

[illegible]

最新刊

◇兒童宗教教育の基礎 伊藤堅逸 四、一八
◇日本南講史 梅澤精一著 八、二五
◇宿命 沖野岩三郎 二、七五
◇婦人と子供の權利 平塚らいてう著 一、八〇
◇新エミール 三浦關造譯 三、〇八
◇傑作集 與謝野晶子 一、九八
◇白樺の林 白樺同人著 二、二〇
◇金の鈴 野邊地天馬 一、六五
◇婦人と經濟 上村勝雄 一、七六
◇社會改造思想史 岡楊三 一、九八

京城本町一丁目 大阪屋號 電話……

喪中ニ付年始欠禮仕候

京城黄金町一丁目 市來商店
木浦常盤町 市來木浦支店

京城地方法院

群山 鶴屋洋品部

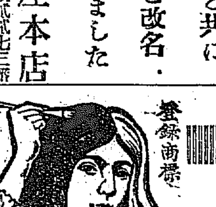
景品附歲暮大賣出し

正月準備品・贈答用品

期間 十二月十三日より十二月卅一日まで

●景品
一等 百圓 一本
二等 五拾圓 一本
三等 參拾圓 一本
四等 拾圓 三本
五等 五圓 五本
以下上等澤山

群山 矢野雜貨店が 新築落成と共に 鶴屋と改名致しました
御部を鶴屋本店 振替京城貳貳七三番
小賣部を鶴屋洋品部 電話五五番

ナイス定價改正
しらが赤毛染 染毛劑中の白眉として非常なる御賞賛を博せるナイスは近時著しき原料材料の昂騰に伴ひ已むなく今回最少限度の値上げを本日より左記之通實行 仕候間倍舊の御愛用を乞ふ
ナイス新定價
男子用 一瓶 金四拾錢
小瓶 一瓶 金五拾錢
大瓶 一瓶 金九拾錢
五大特長
……自然の黑髮に染る、……永保つ、……枕に汚染せず、……用法至極簡易なり、


登錄商標 白毛赤毛染 ナイス
全國各藥店に取次す
ナイス發賣元 大阪頭腰町 東京宿屋町 丹平商會

入院 隨意
京城南山町二丁目六番地（天滿樓ヨリ西ニ至ル角）
外山内科醫院
電話一九五二番
片山信夫

性に眼覺める頃…
若き美を發揮する
純白美乳
家庭では？ 外出には？
何んと申しても若い間が女の花、その花の時代を幸福にするには夕ゞ美しくあればい〳〵、こゝろで評判の純白美乳を常用することに生地から色が白くなるばかりでなく皮膚の外面が天鵞絨のごとく柔かく美しくなりますから見た感じも綺麗の上にも理想的の美白劑であるといふ事が出來婦人の幸福を完全に得せしめます、平生斯うして皮膚を整へた上いざ外出の時には姉妹化粧料美乳白粉日本で一番新しい一番よい模範白粉の名ある美乳白粉を塗け生地から冴〳〵した化粧を發揮するから嬉しい！
美乳本舖 大阪 矢野芳香園

謹告
謹啓年末御繁忙の折柄各位益々御清勝奉賀上候却說私事今回大田春日町一丁目元旭亭跡を讓り受け之れが改築をなし來る十二月十八日より左記の通り開業致し候に就而は末永く御愛顧御引立被下度尚正月の御料理仕出し等は特に勉強可仕候間多少なりとも御用命の程偏に御願申上候 敬白
和洋料理仕出し一切
大田春日町一丁目
新松
山崎宇三郎
電話一五三番

東京竹內製ペント金庫
弗箱と稱せられし時代より苦心研究せられたる活歷史を有する竹內金庫は實に信用の凝塊なり
カタログ進呈

京城 熊平支店
振替京城二三二番 電話長六二四番 本局九番

學生募集
京畿道廳認可 京城自動車講習所
專科入學資格 滿十五歲以上ノ男女ニシテ小學校及普通學校卒業者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者 ●入學時期 每月十五日 ●教授科目 自動車學 電氣學 自動車修理方法 自動車操縱法實習 ●修業期間 二ヶ月 ●目的 學術品行優秀ナル自動車運轉手技術者及販賣員ノ養成 ●設備 實習用自動車 最新式オーバーランド號一臺フオード號三臺其他自動車內部構造作用ヲ一見シテ明瞭ニ會得セシムル本所特有ノ切斷自動車等 ●實習場 京城府光熙門內訓練院廣場 ●學費 入學金授業料實習料 習度教科書料參考書等合計金百三十二圓前納トス 校外生科 校外生科卒業者又ハ本所規定ノ試驗ニ合格セルモノヲ收容シ一ケ月間ニテ自動車操縱法ヲ實習セシム學費ハ金九十七圓ヲ前納トス 通信教授法ニ依リ自動車ニ關スル智識ヲ習得セシム學費ハ入學金授業料（教授書代）合計金拾七圓トス ●各科ヲ修了セル者ハ研究科ニ收容シ左記科目ヲ修得セシメ其間ニ講習料ヲ以テ京畿道廳運轉手試驗ニ應セシム ●自動車應用運轉法實習 ●自動車機構分解接合法及修繕法實習 ●自動車運轉手資務見習
京城府黃金町三丁目百廿三番地 電話長六〇二番 振替七一八八番

謹告

拜啓益々御淸穆ノ段奉大賀候陳者從來市內御取引相願居候精米建値ハ持込ノ相場ニ相成居候處來ル一月四日ノ初相場ヨリ精米所工場渡シニ改正可仕候間配達賃ハ總テ御買主ニ於テ御支拂被下度此段謹告候也

追テ從來ノ定期休業日每月十六日ヲ來ル一月ヨリ第二日曜日ニ變更致候間此段申添候

大正八年十二月 日

京城精米組合

各位

伊達騷動
小金井芦洲講演
第百二席

安藝訴狀を認む

石川駿河徐ろに口を開き『殿、這は御老體のお言葉までもなく、抑々御當家は山影中納言以來の名家にして、就中瑞巖寺殿政宗の君、戰場萬馬往來の功績に由つて鎭守府將軍に補せられ、廣く東北の地を領され露西亞韃靼の押さへ鎭北將軍の名さへあり、されども是れ伊達家自らの功績にて德川將軍家より新に領邑を得たる譯にもあらず、德川家と君臣と云ふにもあらず、普天の下率土の濱、孰れか王土王臣に非ざるなし、德川家は唯だ一時天下の政權を委任せられたるの人、其德川家の政事を恣にする大老酒井忠淸の權勢に由りて伊達の國郡を召上げらる、斯かることに手を拱ねて何ぞ從ふの義務あるべきや、愈々國郡を召上げらるゝことなれば、夫こそ兵糧矢玉のあらん限り防戰に及び、若し敵對いたすこと叶はずんば城を枕に討死いたすまでのこと、何條難きことの候ふべき、ヨモヤ列座の方々にも、これに御異存はござるまい、如何で御座る』と勇ィ凛然と申し述べた一座石川駿河の一言に勇氣を引立てまして

○『寶に角田殿の仰せ至極御尤も……』

△『其儕は死を以て唯だ國に報いんのみ、一ト旗擧すでござらう、御老體如何でござる』

安『倍々御盛んなる石川殿のお言葉かな、各々の御決心誠に滿足に存じます、萬々一宗重不利に陷り大公儀より御當家に御咎めあらんとする場合には淺岡又は蔵之助に申付け夜を日に次いで逸早く國表に注進の手續きを取りますれば其時こそ唯今の御覺悟あつて然るべく、イザ、一戰と云ふ場合に於ける國表の軍師は片倉小十郎殿にお勤め下されたく、總大將は石川駿河殿然るべくと存ぜらる』

駿『イヤ、之は恐れ入つた安藝殿の御言葉、某しことは若年にして不才不敏、總大將などとは思ひもよらず』此時に諸人異口同音に

○『イヤ、夫りや御辭退御無用でござる、石川氏、安藝殿の仰せられたる通り御勇氣と申し、お家柄と云ひ、總大將に石川殿然るべきでござる』と爰に豫のコウ決定いたしましたから一座少しく賑やかになつた

安『ヤ、斯く各樣方の堅き御決心を見るからは誠に某も安心をいたしてござる、御當家興廢の際、協心一致して大將石川駿河殿の采配の下に働かば五年七年の籠城何か候ふべき、素より兵糧軍用金は山程蓄へある御當家のことなれば其等に事缺く憂ひはなし、爰を先途と一戰なし、末代まで芳名を殘し給ふやうに……』

○『仰せまでもなし、吾等最早や心定まりましてござる』と茲に全く評議一決をいたしました、此の決心を以て出府をしたから安藝も板倉内膳正殿へ一命を亡きものとして御訴へをすることが出來ました、一說には板倉が天草一揆の節の恩返しに伊達のために盡したこと言ふことを申しますがそりや大層な妄說でございます、却て評議一決をいたして皆ドヤ〳〵と退散をする、伊達安藝は早速歸りまして、愈々兵部少輔原田甲斐の唯今までの積惡の廉條二十七條と云ふものを書齋に閉籠つて認め初めた、安藝と云ふ人は却々の論文家で當時伊達家でも有名でありました、其人が寢食を忘れ熱血を注いで稿を起した文章ですから一讀以て鬼神を動かすに足つた位でございませう、箇條書の外に訴狀までもスッパリ添へて倍腹心の家來員田求女、伊賀忠四郎の二人を選拔をして、懇々と申含め、願書を持たして江戶表に出府をさせる、二人は江戶表に出府は致しましたが芝口の上屋敷へは却々危險で足踏みは出來ない、由つて馬喰町二丁目奥州屋利兵衛と云ふ旅籠屋へ宿を取りました

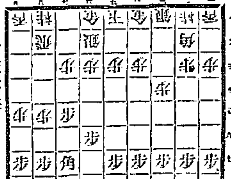
○三井出張所引揚(群山) 三井物產出張所は業務の關係に依り出張所撤廢に決し豫て引揚げ準備中なりしが愈々十二月限り閉所引揚に決定したるを以て挨拶の爲め二十四日午後六時より料亭新月に群山新聞記者團を招待し翌二十五日米穀營業者其他を招待し饗宴せり

○新松の招宴(大田) 大田春日町に今回開業したる料亭新松は二十六日より三日間に亘り市内の官民有志を招待し開業披露の宴を張りたり

○天野前府尹招宴(群山) 前群山府尹天野喜之助氏は二十四日午後六時より群山官民百數十名を富士亭に招待し惜別の宴を張りたるが盛況なりき

將棊新手合(二)
於京城黃金町三丁目二二五(電話二〇一八)溝呂木將棋所

香落番
六段△溝呂木光治氏(京城)
三段▲熊谷順太郎氏(京城)
(圖は九五步迄の局面)
△持駒溝呂木氏ナシ



△七六步▲三四步△六六步▲八四步△七五步▲八五步△七七角▲六二銀△七八飛▲九四步△六八銀▲九五步△四八玉▲六四步(イ)△三八玉▲四二玉△二八玉▲三二玉(以下次號)

溝呂木六段講評
▲(イ)六四步は早し此處四二玉と玉を安全地に移すを急務とす

暦
十二月三十日 (舊)十一月九日 火曜日
▲ひのへたつ ▲八白 ▲白蠟金 ▲しこら(東北) ▲先勝 ▲虛 ▲定 ▲上弦

▽八白▲油斷すべからざる日也
▽九紫▲粗相なき樣注意すべし
▽一白▲至つて喜び事の多き日
輕卒を戒むれば萬事大いに吉也
▽二黑▲思ひのまゝに物事ハき〳〵整ふ日にて萬事に吉なり
▲三碧▲辛抱するに苦しく無き日
▲四綠▲腹の立つ事ありとも能く考ふれば自分の非を覺る日也
▲五黃▲土地金錢その他の事に喜び事あるやも知れざる日也
▲六白▲甘く行かば外の幸福ある日なれど品行に注意すべし
▽七赤▲迷はず正しき道に進まば案外の成功を見るべき日なり

▲頗る便利で經濟的な
永代日記
(附記入式日記)
▲思ひ付た其日から書けて ▲十年でも廿年でも書ける

◇新時代の日記 日々平凡な定り切つた事を書いたのでは何等の記錄にも參考にもならない本日記は事件や感想の起つた時隨意に年月日を書入れて記入し得る頗る便利經濟的に考案せられてある故に本日記はどんな筆不生の人でもどんな忙しい人にでも書き得られる◆尚日々の日記も書ければ五年でも十年でも一生の日記でも書ける仕組にして思ひ付いた日からの日記も書ければ過去の日記も書き得らるゝ故に本日記は自己の歷史とも亦重要記錄ともなりて永久に保存出來得られば繁忙なる事務家は勿論誰にも必要缺くべからざる日記である

◆附錄 ◆人名簿◆知人名簿◆書式◆圖書目錄◆家計簿◆納稅一覽表◆收支統計表◆其他必要事項を附し他に便利經濟を主とせり

▲四六判總布製紙質極上 此際千部限特價(並製一圓五十錢 特製二圓)
希望者は賣切れぬ內に御申込あれ
入用者は次第代金引換にても送る 送料十錢
▲前金注文なれば送料不要
東京青山南町六ノ四〇 振替東京二七七三番 有敎社

本邦人の整容美髮の目的に適する優良の
○ミツワ石鹸
皮膚毛髮の洗滌に石鹸を使用せざる人は、恐らくはあらざるべし、而して石鹸を使用する以上は、皮膚毛髮の整容美髮の目的に適する優良品を用ふべし、ミツワ石鹸は特に本邦人の皮膚組織を研究して、其整容に適すべく精製せる理想的の完全せるものなれば、朝夕の洗顏入浴に常用すれば、肌膚は整へられ、毛髮は補はれ、化粧さるゝ方には、殊に白粉の乘伸自在に、生彩ある化粧の施されるものなり、本品の特徵は即ち

一、原料を精選し、脂肪に香料に、苟も刺戟を感ずべき虞あるものを用ひず
一、溫雅の芳香を有す
一、適度の溶解性を具へて、能く水にも溶解し、而も浴室に用ひて半途に溶け崩るゝ憂なし
一、本邦人の皮膚毛髮の洗滌に最適合する頗る實用的なる故に家庭經濟に叶ふ

◎赤函ミツワ石鹸 定價一個 金四拾錢
◎ミツワ芳香石鹸 三十番 金四拾五錢 五十番 金七拾錢

ミツワ石鹸 ミツワ椿油 ミツワ家庭藥 ミツワ人參葡萄酒 ミツワ規那鐵葡萄酒 肝油ドロップス 御園化粧品

大形 中形 小形 極小形 水石鹸
金參拾錢 金貳拾參錢 金拾五錢 金七錢 金參拾五錢 金五拾錢
內地以外は關稅運賃を加ふ

發賣元 東京市日本橋區橋町四丁目 藥劑、滋養品、石鹸、香粧品、小間物問屋 丸見屋商店
登錄商號 ○ミヤ 電信略號 ○ミヤ 振替口座東京七一〇番 電話浪花 三〇・四〇八・四四九・四五〇

李王職御用 鐵道病院御用
模範 全乳
大正獸醫肥塚主場 東亞牧場 (電話五二番)

笹山章著 ウツボヤ書店發行
新案獨學 イロハ辭典付
鮮語自在
ポケット形二百頁 定價金六十錢(送料貳錢)
上製クロース 定價金八十錢(送料四錢)
發賣元 京城日報代理部

よりも白い
玉のやうなお肌になる!

雪

純無鉛煉製
ホーカー白粉

御歲暮の贈答品として

御婦人のある御家庭へは是非ホーカー白粉をお用ひになることをお奬め致します。高尚で體裁がよいので東京や大阪の上流の御家庭では殆んどこれに定めておゐでになります。どうぞ是非一年中の最後の月をホーカーの薰りの中でお送り下さい。

——効果——
□鉛分を少しも含ます、安心して用へる、
□白さが異ひ絕對に色の變る事もない。
□皮膚の營養劑が含ませてある、
□ノリノビがよく化粧クヅレがしない、
□殺菌力が強く、洗つた後までも白い。
□ムラになつて見苦しくなる事がない、
□着物の襟を汚さぬ獨得の發明がある、

全國到る所—の化粧品店、雜貨店、小間物店、藥店等に販賣す、萬一品切の節は振替又は三錢切手代用直接本舖へ御注文あれ

定價一瓶 廿五錢
送料內地 六錢
滿鮮 四十錢

ホーカー白粉 ホーカー液 ホーカー美髮液 ホーカーパヅト 本舖
東京神田和泉橋際 堀越嘉太郎商店
電話神田一四三・一四四・一四五 振替口座東京一五六

荊妻タマ儀病氣ノ處養生不相叶本日午後七時死去候間此段辱知諸彥ニ謹告候也
追而來ル三十日[illegible]午前十時旭町三丁目[illegible]寺ニ於テ告別式執行仕候 尚乍勝手造花等ノ御寄附ハ堅ク御辭退申上候
大正八年十二月廿七日
高木忠
親族總代 高木七太郎 矢吹賢太郎
友人總代 大垣丈夫 石原磯次郎 大村百藏
生命保險同業會幹事代 中村暉

故愚妻金子儀葬送の際は御多用中態々御會葬被下難有奉感謝候此段略儀以紙上御禮申上候
大正八年十二月廿八日
夫 寶田昌信
父 寶田勘平
實父 石原源三郎

結核專門 古賀病院 九州線田代驛[illegible]

京城日報
(年中無休刊)
本紙定價 一部金四錢 郵稅金五厘 壹ケ月金壹圓 三ケ月 六ケ月 一ケ年 郵券代用一割增
廣告料 五號活字一行 二號活字 四號活字
發行兼編輯人 小川直三之介 印刷人 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 長六千九番 二 振替京城 三〇〇番

釜山支局新築落成

釜山と對支貿易

釜山稅關貿易係調査

朝鮮の對支那貿易は逐年發展を示し之を最近五箇年の實績に就て見るときは其貿易額左の如し

年別	輸出	輸入	合計
(單位千圓)			
大正三年	四、六一八	七、一六一	一一、七七九
同四年	五、九九九	八、〇二一	一四、〇二〇
同五年	八、一〇三	九、五六四	一七、六六七
同六年	一一、九三四	一二、六六八	二四、六〇二
同七年	一五、〇九六	一二、七六五	二七、八六一

右に依れば大正七年の貿易額は大正三年の三倍以上に及べり然れども物價は大正三年より大正七年に於て既に二倍以上の騰貴をなせるを以て其の大部分は此原因に由る增進と觀るべきも尠くも年平均一割五箇年に於て五割以上の進展をなしたる見當は誤りなきが如し

次に大正六年度の統計により朝鮮の對支貿易を地方別に見る時は輸出貿易にありては總額一千一百六十三萬圓(輸出小包を除く)の內(一)は南滿洲及び東部內蒙古(南滿洲は奉天省及び東支鐵道沿線以北を除きたる吉林省)にして貿易額四百二十萬圓(二)は關東州にして同三百三十萬圓(三)は北部支那(直隸省及び山東省)にして同三百二十萬圓(四)は北滿洲(黑龍江省及び吉林省の內東支沿線以北)にして同八十萬圓(五)は中部及び南部支那其他にして同十三萬圓也

輸入貿易 に在りては總額一千二百六十六萬圓の內(一)は南滿洲及び東部內蒙古にして貿易額五百二十三萬圓(二)は中部及び南部支那其他にして同五百三萬圓(三)は北部支那にして同百九十萬圓(四)は關東州にして同四十八萬圓(五)は北滿洲にして同二萬圓なり

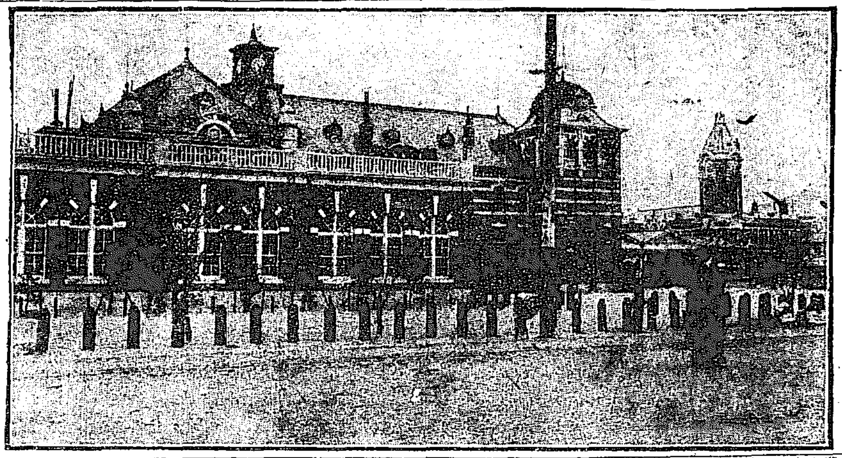
今輸出入を合計すれば(一)は南滿及び蒙古(貿易額九百四十二萬九千圓)(二)は中部及び南支那(貿易額五百十六萬四千圓)(三)は北部支那(貿易額五百九萬圓)(四)は關東州(貿易額三百七十八萬圓)(五)は北滿洲(貿易額八十二萬五千圓)の順序なり

本題に入るに先だち以上朝鮮より見たる對支貿易の趨勢を述べたるが釜山港の對支貿易の現況にありては大正六年度統計に依れば輸出に於ては貿易額十一萬一千餘圓其の重なる仕向地は大連八割、青島一割五分其の重なる品目は米穀、魚貝類、煙草等なり輸入に在りては貿易額九十四萬三千餘圓重なる仕向地は上海六割(過半は小包郵便)青島二割、大連一割三分其の重なる品目は上海より綿絲、麻布類、滿洲地方より粟、豆類、小麥粉、鐵及鋼、石炭、青島より原塩等なり右輸出入貿易額の合計は一百五萬五千餘圓にして朝鮮の對支那

貿易總額 二千四百六十七萬二千餘圓に對すれば四分強に當り朝鮮全開港に於ける順位は第五位に在り對內地貿易に於ては朝鮮開港中首位を占むるにも拘らず對外貿易の主たるものたる對支那貿易に於ては斯かる不況にある所以のもの蓋し相當の理由なからむばあらず既に前述により明かなるが如く由來朝鮮の對支貿易は主として關東州南北滿洲及び北部支那に向つて行はれ輸出入總貿易額の五分の四は此地方に於て占め中部及び南部支那方面に對する貿易は僅かに其の五分の一に過ぎず又其の貿易は主として西鮮各港の勢力範圍に屬するを以てなり之れ蓋し(一)地理的關係(二)滿蒙に於る帝國の特殊地位(三)運輸交通機關の整備(四)物產の關係等は主たる原因をなせるもの、如し試みに此各原因を仁川港の對支那貿易の現況に徵すれば(一)地理的關係に於ては仁川港は朝鮮の表面とも稱する西海岸の中央に位し滿洲及び北支那に比較的に接し加ふるに朝鮮の首都たる京城を控へ(二)運輸交通の關係に於ては鐵道の外大連及青島間の航路亦開け加ふるに支那戎克の來往頻繁にして絕えず(四)物產の關係に於ては四圍に其の主產地を繞らし物資の

集散地と して特殊の地位を占むる等は正に其の原因の相當することを證するものと見るを得べく朝鮮の對支貿易上仁川港の常に首位者たる所以實に玆に存す可し仁川以北の貿易港亦之れと同一原因を以て比較的對支那貿易の盛況を呈せるなり尤も新義州は朝鮮鐵道の終點なれば實際は他の開發より仕出されたるものも稅關手續未濟のものは同地の貿易統計に計上せらるゝの例外なきにあらざるも他は概して然るが如し之に反し我釜山港は前記原因中(一)及(二)の關係に於て西鮮各開港に比し甚だ不利の地位にあり されば(四)の關係に於て附近沿海の豐富なる支那向物產を有するも鐵路の外運輸交通の便を缺けること等の爲に從來釜山港は滿洲及び北支那方面を對手とする貿易に對し敗者の地位に在りたるもの、如し即ち之を大正六年度の釜山港及び西鮮各港對支那輸出入貿易統計に就て觀れば別表の如き狀況なり然らば今後釜山港は如何なる方策を以て對支那貿易を進展せしむべきや要は現在有する富源と更に將來に對する積極的施設とを以て最も有利の方面に販路を擴張するにあるべし從來釜山港より支那向海產物等を彼の地に輸送するには其主たる仕向先たる中部及び南部支那に對する

直通航路 を缺けるに因りて大阪、門司又は長崎を經て取引せられつゝあり即ち之を大正七年度の貿易統計に就て見るに釜山對內地移出貿易中左記の品目は殆ど支那向商品として取扱はるゝものなれば其の大部分は更に內地より支那に再輸出せられたるものとなすを得べく假に其の半額と釜山よりの純輸出額とを合すれば下段の如くなり之を以て觀ば釜山港の對支那輸出貿易の趨勢額と觀るを得べし



釜山停車場

大正七年度

品名	輸出額	移出額	合計
米	六一、〇一九圓	……圓	六一、〇一九圓
鮮魚	四、八四四	……	四、八四四
乾魚	五、九二七	一、九六一、一一三	九六六、四九八
鹽魚	八、〇〇七	三三二、九九九	一七三、八〇六
明太魚卵	六九七	……	六九七
海蔘	四四、八〇九	一〇五、一〇九	九七、三二三
乾貝	三一、一三二	三〇七、〇一九	一八九、六八一
罐詰	七五、六九五	三三二、一六六	二三三、九八三
乾蝦	五一、一三三	一九五、一四六	一四八、七七六
鱶鰭	一五、七七五	……	一五、七七五
煙草	三、八九八	……	三、八九八
寒天	……	三三、四三三	一六、七一一
推茸	……	一〇七、一二七	五三、五六八
其の他	一五六、五五四	……	一五六、五五四
合計	三六九、八二三	三、三五二、九五二	二、〇四六、一六六

果して然らば將來販路の擴張は支那の何れの方面に之を爲すべきやを研究せむとせば先づ支那の貿易及產業狀態等を知得せざるべからず夫れには(一)現在支那は如何なる程度の對外貿易力を有し之に對し(二)我が帝國は如何なる商的地位を彼の國に有するや(三)現在支那の產業狀態の如何を研究するは有力なる參考事項たり今各項に就き其大勢を示せば左の如し

(一)大正七年度支那の對外貿易力 大正七年中に於る支那の對外直接貿易額は輸入五億五千萬海關兩強輸出四億九千萬海關兩強合計十億四千萬海關兩なり右貿易額に對する支那開港場五十港の順位は左記の如くにして上海を以て第一位とし其勢力は總貿易額の四割強を占む次は大連港にして本港は大正六年以前迄は第四位以下にありしもの大正七年に於ては露國擾亂の結果浦鹽港の貿易杜絕に依り勢ひ大連港の貿易を殷賑ならしめ一躍天津漢口廣東の大商港を凌駕して如上の盛況を呈するに至りたるもの也

七年度支那要港輸出入貿易額

港名	輸入 千兩	輸出 千兩	計 千兩
上海	二三四、九七〇	二〇一、三五〇	四三六、三二八
大連	九六、九九九	八〇、九七六	一七七、九七五
天津	五九、三五七	二九、八二三	八九、一八〇
廣東	三八、二二五	四〇、四四六	七八、六七一
九龍	三三、三六九	一四、一八六	四七、五五五
漢口	三〇、九四四	一〇、五九六	四一、五四〇
安東	二二、六〇八	一一、七七七	三四、三八五
青島	二六、九七三	一五、四〇八	四二、三八一
汕頭	二三、二二四	八、九九一	三二、二一五
蒙自	九、〇二五	一二、三九八	二一、四二三
梧州	九、〇四〇	五、七三三	一四、七七三
拱北	八、三三六	四、八二一	一三、一五七
綏芬河	三、七六八	七、四〇七	一一、一七五
芝罘	六、三六六	四、六二二	一〇、九八八
廈門	七、三六五	一、九二六	九、二九一
其の他			

(二)支那の對外貿易に帝國の地位 支那の對外貿易國は約三十餘國にして對香港貿易常に首位を占め來りしもの大正五年即ち歐洲戰亂勃發第三年より對日貿易著しく增大し大正七年度に於ては總貿易額の四割強(對香港貿易を除く)を示し第一位を占むるに至れり

支那の產業狀態 最近支那の輸出貿易額を推測に換算すれば九億餘圓に達し此の內原料及原料用製品五億餘圓食料品及動物類二億六千餘萬圓全製品一億三千餘萬圓にして原料及原料用製品と食料品及動物類とにて輸出總額の約八割六分を占め全製品は僅に一割四分に過ぎず之を觀れば現在支那は如何に天興の物產に豐富なるかを知ると同時に未だ工業は甚だ不振の域に在ることを概察し得べし今最近支那各省の重要物產名を示せば左の如し

地名	品名
滿洲	大豆、大豆粕、玉蜀黍、麻、鐵、石炭、柞蠶
內蒙古	馬毛、羊毛、獸皮、皮革、麻
直隸省	棉、綿、麻、落花生、山羊皮、鐵、石炭
山東省	大豆、落花生、麻、煙草、柞蠶、麥稈眞田、金、鐵、石炭、鹽
山西省	大豆、麥類、麻、煙草、山羊皮、鐵、石炭、石油
陝西省	棉、煙草、皮革、桐油、銅、鐵
甘肅省	棉、麥類、煙草、皮革、硬毛、金、銀、鐵、石油
江蘇省	豆、小麥、棉、鹽、絲
安徽省	豆類、落花生、棉、絹、麻、茶、紙、胡麻、植物油、皮革、木材
河南省	大豆、棉、絹、麻、獸皮、鐵、石炭
浙江省	棉、茶、煙草、植物油、紙、柑橘、鐵、石炭
江西省	茶、煙草、麻、胡麻、紙、砂糖、柑橘、植物油
湖北省	豆類、棉、麻、絹、茶、煙草、硬毛、植物油、金、銅、鐵、石炭
湖南省	落花生、綿、麻、煙草、植物油、茶、材木、樟腦、銀、鉛、鐵、石炭、アンチモニー、銅
四川省	小麥、豆類、玉蜀黍、落花生、絹、麻、煙草、茶、砂糖、植物油、桂、山羊毛、羊皮、亞鉛、銅、鐵、石炭
貴州省	小麥、竹、林物油、皮革、水銀、鐵、石炭
福建省	落花生、麻、藍、茶、煙草、柑橘、紙、樟腦、木材
廣東省	落花生、麻、藍、茶、煙草、砂糖、柑橘、絹、竹、硬毛、錫、バナナ、パインアップル、石炭
廣西省	小豆、麻、藍、茶、煙草、皮、砂糖、柑橘、材木、五倍子、桂皮、銀、銅、錫、アンチモニー、[illegible]
雲南省	豆類、玉蜀黍、茶、阿片、煙草、砂糖、柑橘、木材、藥材、錫、銅、鉛、鐵、石炭

結論

前掲(一)に就て察するに上海、大連兩港は支那の對外貿易上の雙者たると同時に支那の對朝鮮貿易上亦然るものあり而して大連港は主として滿蒙の通商港たれども上海は支那の中央市場なるが故に將來の朝鮮對支那貿易の進展は前者と共に後者に緊する貿易に一層密接の度を加ふるに依りて求め得らるべし前掲(二)に就て察するに從來外國の獨占に歸して本邦の侵入競爭する能はざりし商品も歐洲戰亂勃發後は比較的容易に本邦品の代りて大部分其の販路を占め或は全く其の獨占に歸して大いに市場を擴大することを得たるものにして之れ一は我商工業者の努力に負ふ所ありと雖も亦一は大いに四圍の狀勢の然らしめたる所なるが故を以て販路の開拓は比較的容易なりしも此の擴張したる市場を平時の將來に於て尙ほ克く

列國競爭 に堪へ永久に亘りて之を維持し且つ進むで益々之れを擴張せざる可からざるべく將來更に大なる努力を要すべし、果して然らば由來對支貿易上緊接の關係を有する朝鮮に於ても內には益々產業の發達を計り外には販路を擴大し以て對支那貿易の維持進展に努力せざるべからざるは論を俟たず即ち之我帝國の對支貿易上に勢力を加ふる所以に外ならざる可し今や山東問題以來支那各地に傳播したる日貨排斥に依りて兩國の商を害せらるゝこと甚だしと雖も現今兩國間の物資需給の關係より之を觀れば前途悲觀するに足らざるべく寧ろ苦痛を感ずるは支那人其者にして强て現狀を繼續すれば結局自繩自縛の窮目に陷るに至るべきは明かなり要は如上の努力によりて

外國商品 との競爭上勝者の地位を持續するにあるべし

前述(三)に就て察するに對外商權の擴大は國際の進歩によりて得らる可く國際の擴張とは別言すれば國富の增殖に外ならず然らば如何にして之れを實現すべきや此の方法は種々あるべきも要は產業の發展と販路の擴張にあるべし。

支那は前述の如く天與に豐富なる自然の物產を有するも之れを原料として加工生產する事業は甚だ不振の域にあること前掲の通りなり見るも明かにして今や此富源を開發すべく虎視耽々たるは單に帝國のみならず歐米の他國も然るが如しされば此の間に立て最も有利の地位を得むとせば之に相當する努力なかるべからず之れが努力の方法は種々あるべきも何れも資本の必要なるは勿論其の根本義なり吾人の所謂日支親善の方策は公私協力的に之れを施すと同時に之れに應ずるの策を施すの必要あり。

日支合辦 事業の勃興は本の國內放下を强制せず之れを放任すれば資本は或る程度迄國內を去つて利子の高率なる幼稚產業國に集中すべきは自然の趨勢を有するのみならず對支放資に依り物價を調節して國民生活の不安を除き以て勞働問題と生產增加とを圓滿に解決せしむる必要あればなり。

第二策としては生產原料輸入集中及び其加工製造品並國內特有物產の海外販路の擴張にして前者と共に國利民福の方策たるを失はざるべきも蓋し戰後の世界的經濟落伍者たらざらむとせば生產を增加し輸出貿易を振興するを以て策となせばなり、果して然らば朝鮮對支那貿易の將來に就ても之れを

同一方策 を實行するを以て根本策となすべきは言を俟たざる次第なり以上(一)乃至(三)を更に綜合して釜山港將來の對支貿易を觀れば之れが進展は一に支那に對する直接航路の開設に依り決せらる、もの、如し然らば其航路の目的地は支那の何處に之を求むれば可なるや如何を觀ふに釜山上海間の連絡は其最も適當とするものなるは雖も亦連絡の意義は兩國經濟中心點の結合なればなり。然れども現在の海運界の趨勢より推考する時は營利的事業として稍々困難を訴ふるなきやの懸念なきにあらざるを以て或る程度の補助獎勵は當局に仰がざるべからざるが如し聞く所に依れば總督府に於ては其起點とする大連、青島間の三角航路は總督府の補助によりて來年度より實施されむとす果して然らば之れ朝鮮の

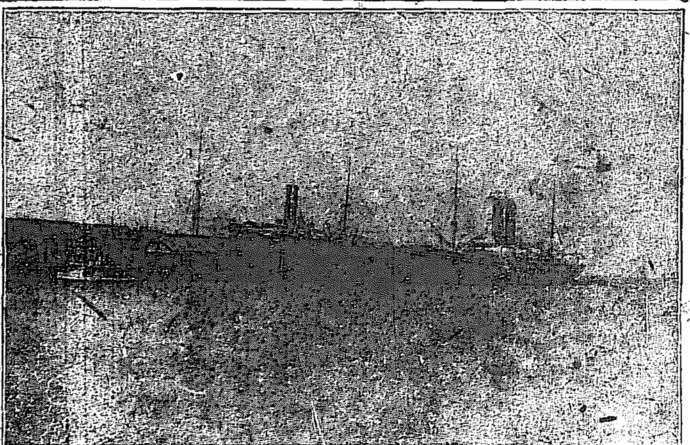
對外貿易 發展の第一步なり若し夫朝鮮に於ける對支貿易の經濟中心地點は西鮮に於ては仁川港を以て南鮮に於ては釜山港を以てするものなりとせば釜山上海航路の開設は當然之れを要求し得べく況んや釜山港の位置及び附近に支那特產物の豐富なるに於ては一層其必要を感ずるものなり若し直通航路の實現を望むこと出來されば青島、仁川間の航路を上海釜山に兩端延長するも一方法なるべく又一面下關門司に於て要求せる日支連絡結合の中心地點たる發展の途せられたる曉に於ては釜山上海間の間接航路に比較的利便を得るの結果に至るべきも斯くの如きは迂遠の事にして進取的發展策にあらざるべく要は釜山上海間の直通航路の開設にあり然れども之を實現せしむるには單に當局の補助獎勵にのみ倚賴せず貿易業者の自身の努力をも亦大いに必要とす特に此の點に就ては左に最近の例を擧げて參考とせむ名古屋は從來主として

大阪市場 を經由して上海と貿易したるものなるに名古屋に於る貿易業者の發議に依り之を同地よりの直接貿易に轉化したる實例之なり即ち名古屋商務公所は三ケ年の調査期間を置き上海貿易の機關として設けたるものにして名古屋市貿易業者約八十名を以て組織し名古屋市の補助年額二千圓及愛知縣の補助年額二千圓其他會員の醵金を以て基金とし既に設置以來三ケ年を經過し同一狀態の儘にて大正七年八月より實施貿易に從事するに至れりと其の當時定期船として日本郵船より筑後丸一隻を配船し一ケ月僅に二回の運航せしむるに過ぎざりしが大正八年二、三月頃に至りては名古屋對上海貿易著しく發展し公務所以外の貿易業者も從つて增加したる爲更に一隻を增加し其他

臨時船の 就航を見るの盛運に向へる狀態にして兩地の直接貿易の開始に依り市場の情況益々明瞭となり貿易上多大の便を得るに至れるを以て將來の發展一層大なるべしと謂ふ朝鮮と名古屋とは素より同一視することは能はざるも是迄名古屋品が他港を經由して上海に輸出せられた點は朝鮮(特に釜山)の現狀に相似たるものたり依て惟ふに釜山對上海貿易を直接ならしむるに於ては兩地間市場の狀態自然判明し貿易の進展は今日の比にあらざるべし。

然れども飜て釜山港の對外貿易の實勢を顧みれば現に歐亞連絡の關門たり又滿蒙物資の集散地として其貿易は逐年進步發展せるも單に集散地として所謂病的發展にあらざるか疑に之を健全に消化し其生命をして永遠に維持伸長せしむるには一に富源又は工業の力に俟たざるべからざるもの、如し蓋し單に集散地としての發展は時運の趨勢に依り浮沈を免れ能はざればなり本年釜山港の

輸移出入 貿易額は豫想に一億五千萬圓見當なり其の原因は主として價格の昂騰に依るもの多く數量に於ては却つて減退のもの、なきにあらず若し夫れ將來大連の交通機關一層完備し清津及吉會線の連絡成り更に元山、仁川、鎭南浦等の地方的南港の機能を發揮せらるゝの曉に釜山の勢力圈は依然として動かざるか果して如何、釜山港は其の附近に工業を有するや思慈に至れば釜山港の將來決して樂觀を許さず此故に釜山としては自ら工業を起し自ら生產者となりて他方支那との交通を盛んならしむるの計畫及實行必要なり其の目的地は對上海を以て第一步となせども更に進むで香港、南洋、歐洲等世界的に前途の發展を期せざるべからざるは言を俟たず近く朝鮮關稅制度の改革內地關稅制度實施、假置法の實施等當局の施設規產業政策に俟せむとす此の好期を逸せず釜山港對外貿易の發展に尙一層の努力を望む(終)



釜山第二棧橋

祝支局新築落成
釜山大廳町二丁目
東亞銃砲火藥店
電話壹壹五番

祝支局新築落成
原鹽直輸入 再製鹽製造
釜山絕影島州岬
荒石組製鹽所
電話八番
釜山南濱町一丁目
荒石組製鹽販賣所
電話四〇四番

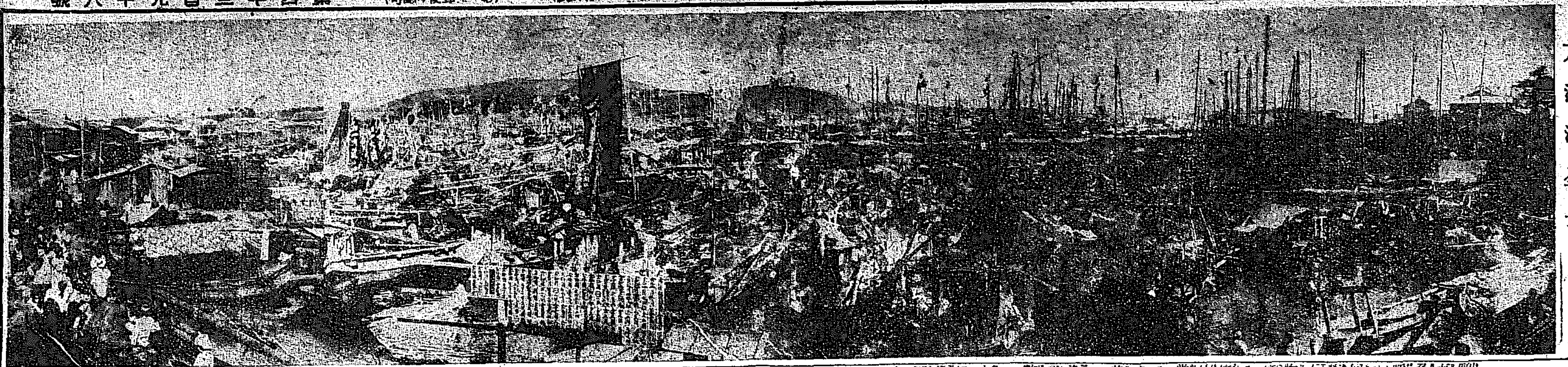
祝支局新築落成
漁網麻苧麻糸綿糸
和洋船具漁具一式卸商
釜山南濱町一丁目
福島源次郎商店
電話九五九番 振替京城三七三番
綿糸網 麻糸苧 綿糸撚糸
大阪府島製網工場 廣島本店製網所 釜山福島撚糸工場

祝支局新築落成
佐須賀銘
英酒
別天地
釜山寶水町三丁目
竹鶴釀造所
電話參一八番

祝支局新築落成
米雜穀 貿易商
釜山南濱町一丁目
品川本店
電話二七番
釜山岸本町
品川精米所
電話一〇七番

祝支局新築落成
釜山埋立新町
土佐紙會社京城支店
釜山荷捌所
電四二八番

祝支局新築落成
釜山佐藤町
朝鮮興業株式會社
釜山支店
電話三四一番



方漁津全景

大漁場方魚津に就て

釜山税關派出員の談

朝鮮半島中釜山以北慶南慶北の海岸線は他地に比し遜色あるは免れざるも朝鮮海の状況たる寒暖兩流の影響酷甚なるは水族の分布を濃厚ならしめ魚族の棲息回遊及び蕃殖を助け兩帶性の魚族も一網の下に捕獲し得らる。天與の漁場地なり今既知の水產物をのみを以て數ふるも實に數十餘種の多きに達し其中重要なる物產こして經濟活動の有位の位置を占むるもの拾有餘種あり外未だ未獲水產物の幾種なるや曾て具聞し能はざる眞に遊逆なる天與の寶庫と云はざるべからず現時沿海の鯖、鰤、鰺漁は其產額莫大により全鮮屈指の一大の漁業地こしては稍誇大に過ぐる觀あるも東洋人こ稱するも敢て過言にあらず稀有の豐漁こして一般に喧傳せられたる大正七年秋漁季より翌年春漁季に至る一箇年間の年產額に係る漁獲は實に五十萬斤五百萬圓を下らざる多額に達し眞に其隆盛を推賞するに足るべし近時斯界の隆盛こ共に各種の新規漁業の計畫せらるゝもの多く最近勃興せる漁業にして將來尤も普及せらるゝものは傳、巾着の兩統にして何れも

一長一短 は免く集合魚族の採捕に適へり殊に本年に入りて發動機付、巾着、同手繰網の二三經營せらるゝものあるも既に斯業の有識者間に於ては大々的計畫せらるゝも多し前者は從來多數漁夫に於て作業せられたる網引の操作を機械力を以て補ひ之が勞力の經濟こ人物沸底の今日漁夫の四分の一を以て足れるは時代の趨勢に適ひたる尤も進歩せる漁法たらずんばあらず而して後者も亦然れども主こして年內漁業の絶ゆることなき漁法は斯界の穩便なる發達を助長し生產の平調を保ち得らるゝは尤も特筆に價すべき一なりこ當地に於ける集合漁業中其主なるものは鰯漁業にして去る明治三十六年鹿兒島縣の一木釣々漁を創始して發達したるもの逐年漁具漁法の改良進步は益々巧妙に進みて今日傳、巾着兩統の發達を招致したる所以なりこす本兩統は海理に

自然東北 に對峙し巾着網は比較的沿網混濁なる潮流急速の方面に好適し流網は海水清澄なる所も潮流緩漫なる地に適へるが如し而して鯖流、鰤、鰭釣等あるも比較的利潤に薄く時代に向きにあらざるこ漁法の幼稚、漁族進合の密度稀薄なるが爲統一的に歡迎せられざる因をなすに至れり

是等鮮人漁業は逐年勃興の機運に漸進したるこ雖も鮮人漁業者其數に比較すれば其數寥々たるものにして遙か他業に劣るここ久し尤も本品が鮮人嗜好に適せざる爲なるべしこ雖も其委靡不振の狀態は古來漁業に從事するものを尤も劣等視したる關係上事業こするもの殆ご或は一部の階級に限られ而も却々彼等に苛斂誅求を極めたる譯ありたる結果こして當時何等指導啓發の觀るべきものなかりしも其源をなせり然るに近時此舊弊を脱し日本人に模擬せる漁法は人物沸底の今日鮮人漁夫の多數が進んで傳巾着の兩統に雇傭せられ其智識の普及は彼等鮮人漁業を改善すべき機會を獲し其成績觀るべきもの多からんこするに至れり扨て歐洲戰亂の齎したる事業界の勃興は斯界に於ても殊に活躍を示し一般の好景氣は著るしく魚類の消費力を增進し隨つて供給難は生產暴騰なる而も

交通便利 なる對內關係は鮮滿漁族の內地輸送販賣の途益々開拓せられ所謂魚類運搬業者の魚類の需要を調節するの社會的經濟活動の見地なり今日の旺盛なる斯界の發達を促進し亦經濟事業こして一層重要視せられたるに外ならず然るに近年魚類運搬業者の經營は漸く艱難こなれり此が窮迫せる主なる原因は資本の缺乏こ產地魚價の暴騰營業經費の膨脹其主なるものにして之が自救策に就ては當業者一般に苦慮する所なるも斯界の根本策たる事業合同の如き經理上より見て當然の歸趨こ謂ふべくも當面の利害關係上今遽に實行し能はざる狀態にして机上の空論過ぎず今吾人本關係に就て觀るに漁業仕込金は一般漁業經濟の膨脹に伴なつて其割合を增加し既に戰前より數倍加するの狀況にして其他造船費發動機關備附料等何れも倍加以上の資本の增大を餘儀なくせしむるに至れり又諸經營費に就て觀るに發動機燃料油脂の如き運搬經費に最も重大なる關係を有するもの船員の給料船員の食料延いて鮮漁鐵道運賃の改正値上げ且つ運搬業者の主要經費を占むる氷の如き何れも數へ來りしも倍加以上のものならざるもの無く殊に製氷に於ては

需要增大 にして到底供給の補はざる結果隨所に特約を破毀して顧みず之等事業を獨專して利益を壟斷する等專横の至らざるなき其他諸經費に於ても同一筆法にして何れも倍加の騰貴を觀ざる可きに至れり更に產地の魚類買付價格即ち原價は四五割の騰貴を示せり如斯當業者は過去戰前に比し著しき資本の增大こ經費の膨脹生產原價の騰貴こを招致したるも之れに對比し仕向地に於ける魚類の販賣價格が供給價格こ左程騰貴の事實を示さゞるは結局當業者は其買出擧行に於て非常の損失不利を免れざるの極めて逆行の立場にあるを想倒せざるべからず此に於て自然の現象なる當業者の活路は如何にして自救の途を講ずべきやの問題にして夫れ第一諸經費の節約第二產地魚價の引下げ第三魚類販賣價格の引上の以上三方法の其一若しくは全部の實行に待たざるべからざるなり第一諸經費の節減に在りては是が根本的の解決は斯業の大部合同に依れるを以て得策こすべきも這は現下の狀態に於て容易に實行し能はず結局當業者各個の經濟に於て不斷の經費節減の方法を講ずるより外なかるべし第二の

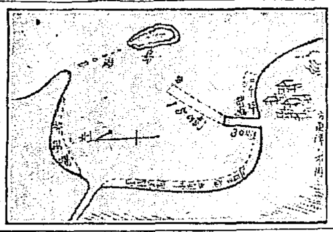
產地魚價 の引上に就ては同業者間に於ける競爭買の弊あり

を除き至當價格を以て買取る爲めに努めて當業者が共同一致的の步調を採るを得策こすべきも買付値段の協定等は遽に實現すべきものにあらず唯單に當業者各個が無謀の競爭をなさゞるに在りて併も既して今日產地魚價は漁業經濟の狀態より見て至當に近きものなれば現在以下の引下は其論旨に添はざるここなれば第三魚類販賣價格の引上問題も亦實行困難にして容易に人爲を以て左右し能はざる處なるも今日魚類運搬業者の運命を支配すべき重要點は即ち此處に存すべきを思はざるべからず而して當業者一般が魚類生產原價の引上及び諸經費の膨脹を來せる等の事業の內部的經濟現象及び一般物價騰貴の外部的經濟現象に對し獨り魚類供給價格のみは何等其生產增加及び分配上に變動の實を認め得ざるに不拘比較的騰貴せらるゝここは經濟法則より推して不可思議なる現象なりこ他眼視する能はざる一事

朝鮮鯖網組合組織

漁業家の一致團結と完備せる組合規約

方魚津有力者は築港問題に熱中し社會の爲め貢獻する處勘からざるが一方に於ては漁業者の增加に伴ない沖合に於ける紛擾の免れざるを以て之を矯正豫防するの目的にて本年十月六日林水產組長の來津を機こし當地漁業經營者より此の問題を提案せり組合長も大に贊同し野山警察署長こ協力遂に朝鮮鯖網組合を組織す、從來沖合に於ては第一紛擾の種こなりしは魚群發見に據る投網の爭ひにして之が爲每年重輕傷者を出す事枚擧に遑あらざりしが此組合の成立するや全く紛擾事件は根絶せる狀態こなりしは眞に慶賀する處にして此後益々組合の業務を擴張し廣く之を行ふに至らば斯業の開發は實に偉大なる好果を得べきは言を俟ざる處なり



本組合の最も美點こすべきは組合規約の中組合の心得こして

一、組合員は言動を愼み野卑粗暴の行動あるべからず

二、組合員は德義を重じ勤儉を旨こし風俗の改善を期すべし

三、漁場に於て魚群を發見したる者は其距離の遠近を問はず投網の先權を有するものこす

四、漁場に於て甲乙同時に魚群を發見したるこきは潮流及び風向の如何に拘らず其の網船の最魚群に近き者に於て投網の先權を有するものこす

五、漁場に於て魚群を發見するも投網に先ち其の魚群の隱沒したるこきは發見者の効力を失ふものこす

六、漁場に於て甲乙同時に魚群を發見し且つ其の網船の距離相等しき場合に於ては信號に依り相互協し其の一方に於て投網操業を爲し其の漁獲物の十分の三乃至半を投網せざる一方に分配するものこす
前項の分配を受ける者は他の一方の投網操業中こ雖任意に漁撈を爲し其の漁獲物の全部を取得する權あるものこす
第一項の信號は適宜の物件を頭上に於て交叉するものこす

七、前條の場合に於て其の信號に應ぜざる者は棄權したるものこ見做し漁獲物の分配を得ざるものこす

八、潮上に於て投網中潮下に在る投網に魚網の流れ掛かる場合に於ては潮下に在る者の同意を求め危險の處置を執るものこす此場合に於ては潮下に在る者は好意こ同情こを以て之れを迎へ其の漁撈に支障なき限り其要求を容るゝものこす

九、漁場に於て網船こ網船こを接近せしむべからず協定、談合等は一切其責任者に於て之れを爲し其の他の者に於ては一切之に容喙するを得ざるのみならず如何なる場合こ雖相互暴言暴力を愼むべし

十、投網の先權を有するものこ雖故なく魚群中に船を漕ぎ入れ又は故なく之を驚かし又は散亂せしむ等の行爲あるべからず

十一、他網の投網又は包圍等に對し木石等を放擲し其の他妨害的の行爲あるべからず

本組合は漁業紛擾の裁制をなすものなれば實に其業務の至難なるは窺はるべし然れども幸に水產局並に郡警署の援助を受け加ふるに當組合の理事者たる副組合長大林善作氏並に理事の職に在る水產組合方魚津出張所長武內峰泰氏の熱誠なる執務こ各役員の公明正大なる盡力こは本年の盛漁期に紛擾なからしめたる眞因こ云ふべし大林氏當年五十の坂を越ゆしも元氣猶旺盛にして本組合を一代の事業こ覺悟し著々業務進展を計り其熱心なる事一般の認むる所にして組合員の深く敬慕する所以なり尚本組合にして官憲の援助を得て不正漁業者即ちダイナマイト使用漁業者の取締を附託するを得ば正當漁業者の保全を計り水產開發に偉大なる効果を見るべし又組合員一般の希望する處なり

顧問　魚谷精三、井上庄七、平山嘉門

役員　村尾敏行、眞鍋鎮三、白石勘市、合田熊夫、中部謙吉、三登年光

相談役　中部幾次郎、副組合長大林善作、理事武內峰泰

方魚津築港防波堤

第一回工費三十九萬圓　新埋築地二千坪

方魚津は慶尚南道蔚山灣の突角せる半島に位し日本海玄界灘に面す氣候溫和にして四季寒暖の變差著しからず灣內餘り廣からざるも北側に九十間許りの字の礁を有し其突端の小さき島こ相連りて天然の防波堤を爲すも南側は開放的なるを以て風波の襲來を免れざるも數年前圖の如く三十間の防波堤を築造せるも之れを以て方魚津港を保持し能はず延いては幾千萬の汽船發動船乃至漁船の安全に碇泊すべからざるは當局並に當業者の深く憂慮する處にして兩三年前より當業港問題を企圖し具體的に計畫攻究を重ね本案建議問題こして各紙に表れたるが愈々今日に於ては機を熟し郡當局の熱誠こ其他の有力者の赤誠より遂に技術的に築港建設するの域に達すこれに依つて

總督府並に道當局側親しく 實地踏查を遂ぐる所こなり現在既設せる防波堤を利用し此突端より斜灣外に向つて百五十間を突出せしめ北側の小島こ相連なる天然の防波堤こ以て灣內を包擁し船溜面積八萬坪を確保するを得而して之れに收容する船數は實に發動機船三百五十隻漁船一千七百隻は安全に繫泊するを得尚第二回防波堤の工費は前項百七十間の防波堤並に第三回防波堤は灣口北側の暗礁を完全に築造するを得ば六七百噸の汽船を容易に出入碇泊せしむべきを以て單に漁港たるのみならず東北海岸に於ける避難港こして敢て稱言たらざる時代の進運に伴なひ第一防波堤の著手は愈々急速を促し現今の不自由を早く安定に置かしむるは此土地の責任にして郡當局も方針を促進し官民協力遂に此の築港期成同盟會を組織し會長に中部幾次郎副會長日本水產の井上庄七山神組の魚谷精三外評議員三十五名を選定し議事を練り結果其內委員數名を出して十一日晉州に出張し佐々木道知事に親しく陳情し知事も亦大いに諒解する處こなり茲に於て大築港の實行たる第一步に入る其順序こして先づ第一回計畫の既設三十間より斜灣外に向つて百七十間を突出し

此附帶工事こして此防波堤 の外側即ち南側の町離れの岸に沿うて二千坪の埋築を爲し次に灣の北側の入江たる現朝鮮水產組合出張所前附近を船揚場に設備する目的にして此經費總工費約卅九萬圓先づ國費補助二十萬圓こ地方費十萬圓を得殘額は總て方魚津に於て支辨する計畫なり然れども此防波堤工事には有力なる資源を有する即ち埋立地の二千坪にして方魚津は市背小なれども山を負ひ海に最も逼り地形は傾斜し平地に乏しきが故に該土地の竣工するや漁獲物の處理上乃至凡ての便利なる地なれば非常なる地價を表すは實例坪三百圓に最近賣買成立せるを見て證明するに足る要する土地の資源たるは一擧兩得の計畫にして明成會は旨を安定に保持し併せて工事を得べきは其衝に當る者の冒戰を得たりこ云ふべし如斯當地の築港問題に熱心なるは朝鮮水產界の最も感謝する處にして此後益々當港設備に付き毫も忽かせにすべからざる問題にして之れをして完備ならしむるに於ては獨り方魚津の爲ならず東洋水產界に貢獻する處偉大なるものにして世人等しく期待し兩手を擧げて希望する處なりこ

方魚津と漁業

從業者の貯金　年額十八萬七千圓

方魚津は朝鮮沿岸の一小村浦に過ぎざれども水產上より觀る時は朝鮮海に於ける唯一漁港こして敢て贅言たらざるの資格を有す、彼の朝鮮水產界維新の當時即ち日露戰役後內地に於いて農商務省は勿論各縣の遠洋漁業獎勵に熱中せる際こて一時に朝鮮漁の整然に驅られ我れを先にこ此縣の補助の下に鮮海に出漁

方魚津は鯖を

以て生命こするこは決して一つの風聞に止らず實に此地の生命たるは東洋水產界の認むる處にして又方魚津をして運用的漁業の根據地たるは吾人の能く熟知する處にして敢て言を俟る要なしこす之等方魚津を根據こする漁業の種別は

鯖網、巾着、流網、發動巾着網揚繰

其他鰆流し網、鰆釣等にして其數盛漁期に至らば一千二、三百隻之れに附屬する魚類運搬船は汽船六隻、發動機船四百二十隻帆船の母船廿五隻は常に當港を根據こし慶北及び方魚津沖合に出漁し漁場恰も沸騰の夫の如く各自投網、繰網の爭ひ各發動機船の所屬網船の保護及び漁獲物の運搬處理等の

活動振は言語 に謳されざるの盛況を極む、然り而して之等漁業者は終日海上に於て猛烈なる勞働に力め夕に方魚津の港に發動機母船に曳かれて歸るを無上の樂みこす、此附近に於ける漁期は寒鰤こ云へる二月頃の初漁より春夏季を休みて秋季より十二月に亘り其間に漁する水揚高は大正五年に九十四萬圓、大正六年百七十八萬三千圓、大正七年は二百七十八萬三千圓にして本年は多少不漁なりしも漁船增加の爲め一般より觀る時は幸のみの相違なかるべし、此漁獲物は主こして沖合より捕獲せし魚類を發動船船內に粉碎せる氷を以て氷藏處理をなし而して鮮魚の儘下關及び大阪其他集散市場に運搬す即ち沖買の名稱は之れよりなる斯るが故に氷の消費額は可驚にして年額約二百萬圓を突破す之れによりて如何に

漁業の盛況は 窺はるべきものなり獨り方魚津をして經濟上に數に表すに於ては當地郵便所取扱ひに據る電報者數は發信にありて大正七年度二萬八千六百七十四通着信二萬八千九百四十五通にして本年は四日より十一月末現在に於て其率より押して約一割五分の增加を示し郵便貯金にありては實に十八萬七千圓に達し之等は單に從業者に限るものなり本年は不漁の關係上多少減じたるも僅に二割弱に過ぎず其他資本主側の爲替額は振出七十一萬圓拂渡し四十九萬六千圓に達し振替貯金額の受入こ十萬五千百零五圓拂渡し額一萬一千零五十二圓本年四月より十一月末日現在に於ける受入十六萬六千二百卅六圓拂渡し一萬七千圓を示すが如く一小漁村こして冷視不遇の士をして驚嘆せしむるの活況を呈しつゝあり故に明大正九年一月頃より釜山商業銀行は此地に出張所を設置すべく目下其筋に出願中なりこ云ふ、人口に於ては陸上に於ては五百戶人口一千五百名海上に於ては二萬餘を越ゆ斯の如く盛況なる以て從つて輕鐵問題の支線敷設等の出づるは勿論なる出現こ云ふべし

中部氏の功績

期成同盟會長　中部幾次郎氏

氏は朝鮮水產界の功老者こして又朝鮮公共事業の貢獻者こして世人著しく賞讚する處なり氏は魚類運搬船をして敏速に且つ簡易なる方法を講究せんこ苦心慘澹一方ならざりしも遂に其の功空しからず明治三十八年石油發動機船を運搬船に据付け朝鮮海に乘り出し盛んに魚類運搬に努めたり爾來內鮮共に漁業の進步發達に伴ない漸次發展し現在に於てはその數

一萬隻に 達せしは實に氏の恩惠こ云はざるべからず、氏の經營せる林兼組は名稱より見る時は合資或は株式組織の如くあれども中部個人的の事業にして本店を下關に置き內地、朝鮮、朝鮮各地に出張所を置き氏は方魚津に常詰にて一般を支配す齡相當に達せるも執務に怠る事なく青年を凌ぐの精力家なり、朝鮮各地の公共事業に盡瘁するを樂み寄附金の如きは朝鮮のみにて七千九百圓に達す、近く氏の美擧こするは一萬二千圓の工費を以て方魚津小學校々舍の

新築に際し 進んで此寄附を申し出で其筋の快諾を得て大いに喜びしこ云ふ本件に付き氏は語つて曰く『私が本校建設費こして一萬二千圓を寄附するに付ては決して賣名的或ひは當地に於て占據主義云々こ云ふが如く淺薄なる考へを以て致したるものにあらず私も相當の年齡に達したるを以て一代の內公共的事業こして盡したいこ數々心懸けしも其機に接せず今回の如きは永き宿望の好機こして甘んじて寄附したものである』こふ實に純白なる赤誠を全面に表し尚當方方魚津築港問題の如きは生命こ共にして其目的を遂せずんば已まずこ常に人に語る處なり、要に築港計畫の唱道せらるゝに臨んで埋築地の二千坪は氏の先有權なりしも斷然之れを期成同盟會に其權利を讓り取に兩會

中堅人物

こして東奔西走其倦む處を知らず萬難に向つて處せんこするが如きは近來浮薄人情に流れ易き植民地こして得がたき好人物にして氏をして其範たるに資す、此後益々怠まず弛まず大いに前進し公共事業に盡瘁せられん事を望み又世人の等しく期待する處なり

池田祿次郎氏

蔚山郡庶務主任

氏は方魚津築港問題に傾注し始終一貫せんこするの意氣實に男らしき人物なり氏は本年四十八歲にして永く官途に在るに非ざれば一生の涯こして飽迄此事業を熱誠に成功せしめたき信念より出でしもの〻如く慾を離れ自己を忘れ而して郡守申泰建氏を助けて本事業の總務を提携し能く處し今日に及ぶ氏は常に語つて曰く『事を爲すに臨み百折は覺悟の前であるが一念一心赤誠以て其事業に傾注するあらば必ずや何事かならざらん』こふ實に之れを以て氏の人格を證明するに足る

氏の經歷は神戶税務監督局税務課長の職にありしが明治四十年五月韓國政府より招聘せられ財政顧問付財務監督局税務課長こして江原道原州郡に職を奉じ四十一年末忠淸南道公州に轉じ勤續の擧高し併合後は釜山、晉州泗川、居昌の各郡庶務主任こして其責を全うし現に蔚山郡庶務主任の職にあり、最に日露戰役後に於て其勳功により勳七等に敍せらる、氏の資性篤實にして能く財政に通ずるを以て如何なる計畫に於ても過る事なく又一旦企畫するに於ては專心その業務に熱注し終始一貫成功を見らずんば止まざるの大決心を有す

築港に功勞ある　加藤歡一郎氏

蔚山警察署長

氏は岡山縣の人にして警部より明治四十三年釜山署に轉じ司法主任を務む而して大正三年迄永く在職し敏腕の譽高く後狹川、蔚山警察署長に榮轉し昨年十一月蔚山に轉じ現に此の職にあり剛直にして圓滑主義なり警察施政能く圓滿に進行す郡の施政事業に關しては直接間接に援助し現に方魚津築港問題の如きは其の熱誠なる事郡民等しく信賴する處なり今日竣工事の第一步手に及びし其の功勞又鮮しこせず殊に朝鮮鯖網組合の組織せられたるは實に氏の賜ものにして尚此後同組合に對し完全なる組合こなすべく目下計畫中なりこいふ氏これを援助し永く現職にありて精勵なりしを以て正八位を敍せらる

申泰建氏

蔚山郡守

方魚津築港問題に關し能く經營せしめ而して能く事業の計畫を進行せしめ今日既に工事第一着手に至らしめたるは實に氏の熱誠なる結晶にして其功勞大いに多こす氏は本年四十一歲にして前途尚多望なり、資性溫厚篤實圓滿の士なり青年時代京城官立日語學校にて英語を修得し後韓國政府宮內官、禮式官に英語通譯官並に江原道歙谷郡守の職に在り、大日本勳五等旭日章を受與せらる併合後は慶南泗川、東萊、蔚山郡守こして能く治政の偉績あり現に蔚山郡にありて內鮮人の融和を計り尚近く開題こなりし方魚津の築港問題の如きは池田庶務主任こ協力して業務に傾注し而して警察こ連絡を計り郡內各地の施設事業に努めつゝあり故に郡民等しく其德を慕ひ永く當郡に止らんここを渴望する處なりこ

祝支局新築落成
釜山本町三丁目　坂田本店　電話二三番
釜山高島町　坂田材木部　電話一六四番
釜山高島町　坂田精米所　電話五〇一番

祝支局新築落成
釜山本町一丁目
米穀肥料　委托賣買　梯茂太商店
長電話三參四番　電略（カ）又ハ（カケハシ）

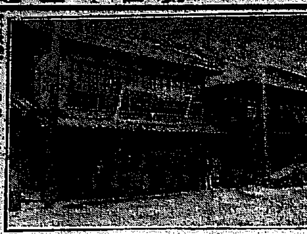
雑貨界の覇者

福榮商會 平野宗三郎氏

最近朝鮮の商工界は産業の開發と共に其進歩發達特に顯著にして全然舊態を革むるの機運に到達せるに當り偶々時吉の歐洲大戰亂が我帝國の經濟界に幸して帝國商工業の隆盛眞に未曾有なるものあるに際し朝鮮も又其の影響を蒙り鮮內各地工業の勃興商業貿易の發展盆に愈々其速度を示し半島經濟界發展の新紀元を劃せるやの觀あり東亞の立脚歐亞連絡の第一關門こして世界的新港たるべき使命を荷へる我釜山港は累進的發展の偉大なるのあり此貿易額たるや遂に一億萬圓を突破し全鮮貿易總額の半を超過せんこするの趨勢に臨み亦當に朝鮮第一の貿易港にして且

最大市場 たるを思はしむると共に、今後産業の開發、人口の增殖、鮮人生活程度の向上に伴なひ將來に於ける同港物資の集散、商取引圓が更に大なる增進を來すべきこと斷じて疑ひなきを想見せしむるに足る秋に際會し我釜山の社會中堅の實業家にして經濟界面も宇內の形勢を通觀し商且多年商工界に於て積める經驗こ明快なる頭腦こを兼備せる平野宗三郎氏を有するは恰好の人物を得て幸福こ云ふ可く今や堀々こして止まざる諸事業の勃興の機運に臨める多事なる釜山港は益々氏の如き事業家に期待する所多し既少ならざるものあるを深く信ずるものなり

此開閉の素封家平野家に於ては帰に我日本が世界一等國の班に列せしべき有史以來特筆大書す可き日露交戰の始めにあたり開明たる朝鮮の小天地に甘んぜず

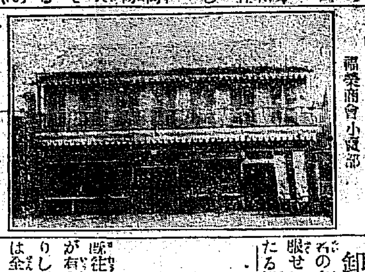


福榮商會卸部

海外發展を企圖し茲に我釜山港をトし專門の合資によりて組織せられたる福米商會を而も當時府内唯一の要衝たる長手通りに創設し

和洋雑貨 内外食糧品類、履物並に化粧品等の卸小賣商を經營し同時に將來に著目せる土地、山林等の經營に杰手し漸次擴張を計り業務の擴大發展に伴ひ之が統監に新頭腦を有する人物を要すも切なるものあり

此時即ち明治卅九年遂に氏の渡鮮を見るに至り渡鮮早々第一業に深く鋭利の天地を鋭く洞察し專ら事業機會の任に當り爾來時代の推移を敏察せる氏の手腕は愈々發揮せられ事毎に成功せざるなく大正元年に至り世の推勢は一層面目を新むす可く同商會の組織變改すべき時運に會せるを以て一應同社の解散をなし更に氏は貿易商店組金部こ大部分の土地家屋山林等を買收し倍殘存せる前會社に屬する所の物に對



福榮商會小賣部

して依然監督の任に當り落々步を進め本年に入り宗家の爲めこれを一躍十萬圓の合資組織こなせる平野組こなし繁忙なる個人事業の傍ら川韓之

監督經營 の任に當り益々土地家屋山林の將來に著目し適應の處置を講ずる等今や氏が廣汎する業務は長手通り小賣部に於ては「雑貨こ云へば福榮」を直ちに聯想する和洋雑貨、食糧品、樂器類外化粧品等の小賣を主眼こし現今の要路に建たる埋立新町卸部に於ては

米、雑穀、肥料、諸油、糖粉、和洋酒類、食糧品、各種雑貨等の卸賣を以て專業こなし商圏は釜山を中心こし東萊郡馬山地方に於ける土地、家屋、水田、山林等此方面に於ける成功者こして見るも異數こ云ふを得可く如何に其の營範圍の廣大なるかは神戸鈴木商店取扱品全部日本及明治製糖株式會社製品、輸出品會社製品、資田石油南鮮特約販賣、甲陽常滿酒類朝鮮發賣元、日本樂器株式會社代理店、ミツワ石鹸御園白粉各販賣代理店、人形ミルク委託賣捌店、帝國ビール新約販賣、東洋海上保險及日本教育生命保險會社各代理店等の各代理

特約賣捌 の商權を掌握し居れを見るも明かにして商圏係せる事業こしては近く資本金二十萬圓に增資の上商工株式會社こ改めらる可き筈なる現資本金五萬圓のスマート商會の設立者にして事務取締役の要職にあり且つ帝國ビール(サクラビール)株式會社大正元年十一月創立以來より引續き監査役の重任を帶び最近に於ては本年十月設立の朝日酒造株式會社の大株主こして而も取締役の幹職を占め其他當地に於ける公職こしては商業會議所議員にして後進の爲め道を讓り現今雑貨商組合長輸入商組合の常任幹事、在鄕軍人會評議員の職責を有し身に寸暇の暇なきにも拘らず各方面の公共的事業に盡瘁する所多大なるものあり殊に氏は軍隊に職籍を有し當地在鄕軍人分會に自己所有の山地八千坪を無料貸附し射場を圖り永久的基本金の財源を提供せるが如き人心動もすれば私己に傾き輕佻浮華に流れ易き今日にありて國家的觀念に富める資に吾人の推賞する所にして

卸小賣部 を合し約五十名の多數店員を意の如く操縱心服せしめ數名の表彰店員を出せる部下に對する威嚴こ愛撫が相待つて以て今日の盛大を致せる所以にして更に氏の將來は益々躍進發展の域を突破せんこするの目覺しきものあり今や氏の事業は日に月に擴大せられ益々隆盛愈々繁榮を極め其販路たるや朝鮮全土は勿論遠く滿蒙の野より露領沿海州に及び最近一ケ年の賣揚總額は卸部に於て三百萬圓小賣部に於て六十萬圓合計三百六十萬圓なる盛況にして來年度の豫想額實に五百萬圓の域を突破せんこするの目覺しき勢ひにありこ云ふに至りては其の殷盛期して待つ可き者あるを知る可し而して氏は斯業に處する手腕こ卓越なる經營の才を以て一代の富を築きつゝある大釜山の如き經濟的中心地に於ける重鎭こして將來益々其發展を期待する所の壯大なるものあるを深く信ずるものなり

仲介業の巨頭

エスケー組 祖父江新三氏 小谷勝吉氏

既往五ケ年に亘る世界の大戰亂は有史以來未曾有の大戰亂でありしが如く亦爰に經濟的爭覇戰は全世界を舞臺こして將に開始されつゝあるは何人こ雖も經濟戰の一端に處しつゝあるは事實なり斯く云ふ我朝鮮の半島然も歐亞の關門こして全世界の注目を引きつゝある釜山港の朝鮮貿易は勿論歐蒙より北支那西伯利亞方面の物資を以て集散せしむる地の位地此機運に向ひつゝある共に貿易業者の振興發展策を實現せしむるの一大責任あるは敢て誰舌を要せず、斯の如く世界的經濟商戰に望まんか活躍奮鬪を識ぜんには其取引の確實圓滿を圖らんが爲め必ず仲介者の必要あり且つ支那の商略は機宜を逸せず活躍するを以て勝利者こ者の掌中にあるが如し目下釜山港に於ける新進氣鋭の米穀商仲介業者間に活躍家こ目せらるゝは釜山本町四丁目に營業所を設置し、米穀委託仲介業を專門こして開業せるエスケー組は組合長こして祖父江新三、小谷勝吉兩氏にして共に性來溫厚篤實の美點を有し居り亦一旦商機に遇すれば至極機敏なる活力を以て人を利し我も益すこ云ふ實に仲介業者こして模範こして信厚せらる故に如何なる紛問題惹起するも貿買雙方間に在て其操縱を委ねらるは同店の誇こし責務を完全に解決するを以て内地の九州、中國、阪神、京濱、關西地方、又は滿洲各地北支那、朝鮮全道の鮮地に至る迄其顧客を占つゝあり斯の如く健實なる發展に伴なふに拾も昨夏米價の暴調の危機に瀕遇したる場合に於て某商人の手に因る商米買付けの同商店は二十數萬石の委託仲介をなしたる等其混雜を醸すこ雖も公明正大に全部の受渡しを濟したるは吾人の記憶に留まる處なり爾來益々發展に伴ひ同氏活躍日に月に顯著にして開業以來日尚淺きにも拘らず半島唯一の委託仲介業者こして聲名高きは全く祖父江、小谷兩氏の奮鬪努力の結果に外ならず、今回釜山有力貿易商人に於て釜滿貿易の圓滿を圖らんこ滿洲貿易組合を組織するに當り同氏等は之を指定ブローカーの一人こして任務の責を負ひたるは滿洲貿易組合業者の爲に大好適者を得たるものこ云ふべし

釜山長手通り

釜滿貿易組合

滿洲各地こ朝鮮の咽喉たる釜山港この經濟關係は從來閑散の狀態なりしが戰後日を追ふて密接に緒々擴大されつゝあるに及んで釜山港に於ける滿洲等の貿易を相計らんこ釜山商人は研究中なりしが同方面の商取引日增しに頻繁を極むるに當たり此々益々金融上の不便取引上の困難を感ずる點少しこせず右につき同業者間に於て其直貿の簡易正確に取引の圓滑を期すると共に信用の增進を圖り以て對滿洲貿易の擴大せんが爲め目的こして今回愈々釜山滿鮮貿易商組合成立を見る事こなりたるが同組合は廿名の從來滿洲各地の直接貿易商人を網羅し立せるものにして同組合內には確定なる指定ブローカー五名を選定し今後大々的取引の改善を圖ると共に確實圓滿なる貿易を爲し總て同組合ブローカーの商圏内に納め以て鮮內及び內地この取引を增進せんもの組織されたり、因に同組合の役員並に組合員は

組合長三井物產(小林一郎)評議員鈴木商店(山本昌彥)共益社(中村虎三)淡盛商會(武久捨吉)井谷儀三郎委員(飴田捨治)協信洋行(細伊三郎)中馬合名會社(中馬喜助)ブローカー常任幹事(小谷勝吉)組合員(品川精米所(品川總藏)松尾藤太郎、坂田文吉白山貿易株式會社(尹炳浩)中村俊松、豐田福太郎、五島合名會社(五島甚吉)柵橋惣次郎、追間保太郎、エスケー組(小谷勝吉)上田勝藏、草梁精米所(上田勝藏)石川精米所(石川侃一)

祝支局新築落成

綿糸 綿布 糖粉 商

釜山本町三丁目

㋒ 松前商店

釜山出張所

電話長四一三番 振替京城一四八番 電略(〇ウ)又八(ウ)

祝支局新築落成

有ゆるタベモノのアヂをよくする

味の素

朝鮮代理店

釜山 あづまや商店

祝支局新築落成

營業科目

內外國物產賣買及委託賣買
漁業、鹽業、罐詰製造業
海陸運送及保險代理業
以上各項ニ關スル附帶事業

米穀部 海產部 鹽業部

支店出張所 城津、清津、新浦、元山、金泉、浦項、甘浦

朝鮮總督府官鹽指定販賣店

貿易商

釜山府本町壹丁目

合資會社 淡盛商會

電話長二九番 電略(タ)又八(〇タ)

祝支局新築落成

釜山富平町

西條鐵工所

所主 西條利人

電話四壹貳番

祝支局新築落成

向陽 三ツ扇 大廳 福泉 釀造元

釜山西町一丁目

福田酒醬油釀造所

電話長三五五番

釜山本町一丁目

福田酒湯出張所

電話三〇六番

內科、小兒科

仁川仲町

高木病院

電話七一九番

內科 外科 小兒科 婦人科

仁川 宮町 電話四五

梅毒 淋病 皮膚病 生殖器病

松本病院

仁川山手町二丁目

齒科診療

東京齒科醫學士 飯塚喜四郎

電話三五〇番

宅診 自午前八時至午後二時 花柳病は特に夜間診療

往診 (午後二時以後)

仁川仲町一丁目(仁川俱樂部隣)

入院隨意 電話六一六番

壬生醫院

略痰、血液、尿其他細菌的檢査診斷の需に應ず

外科 產婦人科 耳鼻咽喉科

仁川本町三丁目(北島藥店前)

入院隨意 電話六七番

井水醫院

岡山醫學士 井水柳軒

神經痛、ロイマチス 運動器疾患、皮膚科 花柳病

仁川本町四丁目淺井病院跡

佐藤內科醫院

電話四貳一番

入浴の好期來る

大田驛より二里餘 自働車にて約廿分

儒城溫泉

各種硝子 小野玻璃器製造所

京城林町百六十二番地 電話二七九一番

弊工場製品は品質本位こし朝鮮原料より製造せしものにて價格最も低廉なり

骨粉 果樹、煙草、桑、稻麥、其他肥料用各種

右製品は低廉にて御用命に應じ牛骨、蹄角、牛脂は高價に買入れ可申候御一報次第店員參上御相談可仕候

朝鮮大田春日町一丁目

製造販賣 大田製肥商會

著荷

一、小野田セメント
一、便利瓦

新義州木材株式會社中鮮代理店

平 富士材木店

大田本町 長電話一六三番 振替京城二一九五番

襟巻

一號 金七圓五十錢
二號 金五圓五十錢
三號 金五 同
四號 金四圓三十錢
五號 金三圓四十錢
送料十八錢

京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

祝支局新築落成

釜山

迫間本店

迫間房太郎

祝支局新築落成

米雜穀、肥料、海產物
石炭、黑鉛、棉糸布、燐寸

大日本人造肥料株式會社朝鮮一手販賣
小野田セメント株式會社朝鮮一手販賣
小宮鑛業所黑鉛內外一手販賣
東京海上火災保險株式會社代理店

三井物產株式會社

釜山出張員

朝鮮釜山琴平町壹番戶

長電話 六五五番 四三三番

釜山棧橋を以て關釜連絡船の發着場所として取扱業務に就て大いに力めて其業務方針の町家の各界に於て工の當なる業者は永き五年に亘り業務の擴張と共に益々盛大なる發展を遂げ…

釜山府大倉町 小野組合名會社

陸送部 (電話長二六四番) 振替京城二〇八五番

廻送部 (電話長九二二番) 電略(オ)又(ノ)

祝支局新築落成

倉庫業、金融業、物產賣買取次委託業、代理業

日本火災 豐國火災 大同生命 大平海上 保險株式會社代理店

釜山府大倉町

伊藤合名會社

倉庫 同 電話 三二 九〇 八七番

夜の蜘蛛 江見水蔭

挿畫 近藤紫雲

（六十三）

此調子で進むと此處で痴話口說が始まりさうな折柄。扉が開けて磯代夫人は令孃芳子を連れて入來つた。其後から閣律女史も戻つて來た。

顯之はわざと大きな聲で。

「こいふ結論に到達するのですから、其おツモりで御保育を願ひます」

さも敎育上の大議論でもしてゐた樣に云つた。

淀子も緊張して夫を聽いてゐた樣に、畏まつてゐた。

「さア、これがお姫樣の御保姆で御在ますよ」と閣律女史は芳子に向つて淀子を紹介した。

芳子は眼を丸くして、淀子を見入つた。

淀子は立つて其側に行き。

「お姫樣、妾がお保母のお役目を申しつかりましたので御在ます。何分宜しくお願ひ致します」と挨拶した。

芳子姫は淀子の近寄つただけ後退りして、磯代夫人の袖に縋り身を隱す樣な態度を示した。

恥かむにしてもチト極端の態度である。

淀子は此初對面に於て、失敗した樣な氣がして成らなかつた。

子供は正直こいふ、其正直の眼に映じた者は自墮落な女の影ではなかつたらうかと、後暗い身は如何しても其處まで氣が引けてならぬ。

「芳子さん、如何したのです。今日から此方が貴女の先生なんですから」と顯之は見兼ねて云つた。

磯代夫人も心着いて。

「さア芳子さん、能く先生に御挨拶を成さるのですよ」と手を加へて前の方へ突出す樣にしたが、芳子はそれでも直ぐ後へ退つて今にも泣き出しさうな顏をさへ示すのである。

困つた事だこいふ容へは、夫人にも、伯爵にも、女史にも皆起つた。

別して淀子には其心配が強烈に起つた。

顯之は少し慌てた樣子で。

「芳子さん、此處へお出で、芳子さん！芳子さん！」と呼んだ。

芳子は恐る〳〵父の顯之の傍に寄つた。

「芳子さん、如何したものです。今日からは何でも此先生の御敎へ通りに成らなければ成らないのですよ。それなのに、そんな人見知りをするやうでは、什樣が有りませんね。そんなに今から捻くれてゐては、什樣が有りませんね」と云ひ聽かした。

それだけの事なのに、非常に大きく叱られでもした樣に、芳子は早泣き顏をした。

磯代夫人は急いで芳子を引取つて。

「今日は少し加減の惡い處ですから……彼方へ連れて參ります」と云ひつゝ、急いで其手を引いて、應接室を出て行つた。

閣律女史も心配して其後から附いて行つた。

又伯爵と淀子と二人と成つた時には、先づ溜息であつた。

「妾ではお氣に入らないので御在ませうか」と淀子は問寄つた。

「氣に入るも入らぬも無い子供の事だから……」と顯之は答へたが、併し腕組は依然として解かなかつた。

「妾、御辭退致しませう。お氣に召しませんのに留まりましても……」

「いや、そんな心配には及ばない。私が氣に入つた家庭敎師なんだから……六歲やそこらの少女の心情は如何にでも成る。そんな浮腰でゐないで…ねゝ淀子さん、確り胸を据ゑて此處に居るゝさ」

演藝案内

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞會社代理店

當る十九日より大々的提供 ▲實寫 印度の祭典 實況 長尺 ▲ニコ〳〵劇 …の結婚 長尺 同劇「マックス流行を造る」長尺 米國ヴァイタグラフ會社大傑作 大活劇『勇猛』全六巻 原名 偶然の兵士 …

喜樂館 本町一丁目 電話九七番

當る十二月二十六日より 本年掉尾の大映畫提供 ▲深川美談『破れ筏』全六巻 東京瀧内尋風 雨中の悲慘劇 主家の爲に倒れる美しき犧牲の花 帝都各新聞賞賛の事實譚 日活會社向島派が特に最善の努力を以て撮影したる大活劇

米國ヴァイタグラフ會社特作 チャムパー氏作パウエル氏脚色 實寫 石狩川鮭漁 喜劇 無心の策略 滑稽 ビル君の成功

◎軍事活劇 好戰國 全五巻 ハリー・モレー氏 コリン・ヴリッツ氏出演

◎實錄 菅原天神記 全六巻 日活京都派 尾上松之助 … 〇松王丸(尾上松之助) 本興行は五日間限り

◎期待せられよ！新春劈頭映畫

黄金館 黄金町 電二六三七 天然色活動寫眞株式會社 京城釜山一手特約代理店

本年掉尾の大決議 … 活劇『ロローの復活』全三巻 天活會社東京派 … 史劇『吉村寅太郎』全三巻 米國カレム大會社作 泰西活劇『女優列車』大雄篇 へレン孃の大冒險 汽車自動車の大競爭 菊地幽芳先生原作 天活東京派新劇團大撮影 新派悲劇『月魄』全五巻 撮影の努力泰西物以上たり 愈々九年元旦より新國際活映株式會社の大映畫提供

浪花館 京城明治町 電話二六〇

大阪大合同落語大演藝會 大正九年壹月元旦より

落語音曲 三遊亭福太郎 …

リウマチ神經痛で永年困しむ人は不思議によくきく良藥有り葉書で申込ば詳しく知せ升 東京市麹町區飯田町六の一 天壽堂

祝支局新築落成

期成同盟會

會長 中部幾次郎

評議員 （イロハ順）

石本與兵衞 石橋新二郎 西村宗一郎 橋詰三治郎 大林善作 大林金次郎 大山清太郎 岡田染次郎 和田駒太郎 川邊辰治 神出鐵造 吉本吉次 高田虎五郎 田中淺次郎 武内皡泰 多田金三 田中幸次郎 永山英二 那須正常 室木春吉 山口榮 松居常松 松岡榮吉 藤本光治 藤本新太郎 合田熊夫 小池常太郎 有吉龜吉 有川敏行 青木榮吉 菊池淺太郎 三好文司 宮村太助 白石勘一 平山嘉門

祝支局新築落成

朝鮮郵船株式會社

釜山支店

祝支局新築落成

輸移出入貿易商 株式會社 協信洋行

釜山出張所

釜山府埋立新町 電話長六三一番

祝支局新築落成

釜山富平町三丁目

横江川鐵工所

電話長六參三番

祝支局新築落成

和洋雜貨 京物類一式卸

帝國製糸會社特約店 オノエ足袋代理店 コマドリ石鹸發賣元

釜山辨天町二丁目

島田商店

電話五七八番

祝支局新築落成

釜山船具組合

稻木丈市商店 濱田規商店 橋本船具店 河野商店 中村實藏商店 福島喜三郎商店 福島源本店

祝支局新築落成

藥種賣藥卸商 製劑師

釜山本町一丁目

大矢和光堂

電話六五四番 振替京城三〇四九番

釜山埋立新町に根據を有し各所に分工場を控へ一日の精米高數百石を製産する堅實なる精米所として謳われつゝある那須精米所店主藤三郎氏は岡山縣兒島郡下津新町の出身にして明治二十一年渡鮮し專ら米穀界に身を投し內鮮人間に大に活躍すると共に益々信用を厚くし幾多の波瀾曲折も屈せず克く同業界の商機を逸せず勉勵の結果今日其成功を贏ち得たる人にして氏は性來温厚篤實の美點を以て內外共に其名を周知せられ現に商業會議所議員として常に公共に勸むる等氏の人格亦推して知るべし。今は齡耳順に達し業務一切を嗣子與諦郎君に讓り俗を離れ朝夕神佛を信仰し親しむは誠に氏の徳にして社交界に亦厚き處あり、世嗣與諦郎君は京都同志社の出身にして新進氣鋭の青年實業家である、事業社交も余員を雙肩に擔當して切り廻してゐる同店は明治三十八年の開店で精米能力も釜山同業の屈指である事は其取引先の擴張たる日本各地臺灣其他朝鮮各沿岸に有するを以て證せり

釜山埋立新町

那須精米所

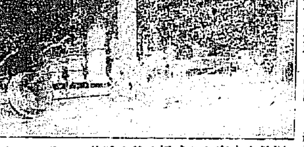
電話長三六〇番

釜山精米所界の覇を占め居る富平町石川精米所は代表者を石川侃一氏を頂き合名組織の堅實を誇り原料は朝鮮各地に求め居るか最も巧妙の仕入れと熟練せる就業者に依つて鮮內の白眉と稱せらる慶南各地に手を擴げて以て精製され常に薄利多賣主義に據つて活動するを以て其信用深きを承れ顧客の需用日進月歩新進氣鋭の飛躍は全鮮各地は云ふ迄もなく日本各地臺灣方面に及ぼし居れるか其主なる地は關門地方は申すに及ばす京阪方面に亘り殊に同氏は最も人望高く克く同業者間の斡旋を嫌わず多事多忙の閑を以て斯界の發展に努むるは一般市民の周知する處なり、目下精米所組合の重席にあり又商業會議所議員として公共に身を委れ以て克く斯界の爲めに努力する處あり氏の人格や推して知るべし

釜山府岸本町

石川精米所

電話長八二〇番

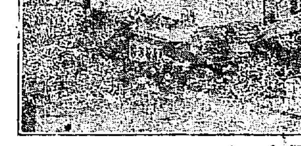


土一升金一升と唱へられつゝある釜山目貫の南濱町二丁目の角に間口十三間奥行七間の大老舗ありて店頭にあらゆる金物類並に土工用農具一切を堆高く積重ね數十名の店員は終日輸移入されたる仕入商品の荷解き荷造或は送出しに… [illegible] …商機を見るに敏なる氏… 及ぶと云ふ、まに殷盛なりと云ふべし、又商家の業務を援け家庭の主婦として且つ加ふるに堅實にして確固たる地盤を有し今後の發展は刮目に價するものと云ふ可し

釜山南濱町二丁目

山本金物店

電話七六六番



釜山港の米の集散地である事は內外貿易商人の周知する處であると共に、日本內地に移出される精白米殆んど釜山精米業者の手によらざる者はない、同業者間に於ても青年の活躍者として一日を從き生氣溌剌として商機を逸せず其取引提りても其名を謳はれつゝある本町五丁目に共工場を有し一日數百石の白米製産能力を欠かさず內地は阪神より遠く關東方面に移出し九州臺灣地方迄其販路を擴大せる品川精米所は明治四十三年の創設に係り本店南濱町の實業家品川德滿氏の經營に成る者のにして主任な青年實業家として抑く落合鎌一氏穎だき店員十數名を使用し新進氣鋭の活動振りは之れ全く前記の如き實買取引先の信用を博せし起因にして倘余りある商才を縱横に驅縦し其商機を逸さず克く飛躍せるは將來の大成功を期するものと云ふべし

釜山本町五丁目

品川精米所

主任 落合謙

祝支局新築落成

潜水器漁業 海産貿易

南濱町一丁目

桝屋長太郎商店

電話九五四番

祝支局新築落成

內外米雜穀 直輸出入貿易商

釜山本町二丁目

堀口商店

電話一〇二八番

釜山南濱町一丁目

堀口商店販賣部

祝支局新築落成

糖粉直輸入 和洋菓子製造 御問屋

釜山辨天町一丁目

寺田安太郎

電話長五〇六番 電略(テ) 振替京城五一二

祝支局新築落成

米雜穀貿易商

釜山府埋立新町

金秉先商店

電話一三三番

祝支局新築落成

米穀貿易商

釜山埋立新町

後藤卯三郎商店

電話四九三番